

OptiPlex 5040 スモールフォームファクター オーナーズマニュアル

規制モデル : D11S
規制タイプ : D11S001



メモ、注意、警告



メモ: メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意: 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。



警告: 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および / またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 10

Rev. A00

目次

1 コンピュータ内部の作業.....	5
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	5
コンピュータの電源を切る.....	6
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	6
2 コンポーネントの取り外しと取り付け.....	7
カバーの取り外し.....	7
カバーの取り付け.....	7
前面ベゼルの取り外し.....	7
前面ベゼルの取り付け.....	8
ファンダクトの取り外し.....	8
ファンダクトの取り付け.....	9
ヒートシンクアセンブリの取り外し.....	9
ヒートシンクアセンブリの取り付け.....	10
プロセッサの取り外し.....	10
プロセッサの取り付け.....	11
メモリモジュールの取り外し.....	11
メモリモジュールの取り付け.....	12
ハードドライブアセンブリの取り外し.....	12
ハードドライブブラケットからのハードドライブの取り外し.....	13
ハードドライブブラケットへのハードドライブの取り付け.....	14
ハードドライブアセンブリの取り付け.....	14
オプティカルドライブの取り外し.....	14
オプティカルドライブの取り付け.....	16
拡張カードの取り外し.....	16
拡張カードの取り付け.....	16
システムファンの取り外し.....	17
システムファンの取り付け.....	17
電源スイッチの取り外し.....	17
電源スイッチの取り付け.....	18
電源装置ユニット（PSU）の取り外し.....	18
電源装置ユニット（PSU）の取り付け.....	20
VGA ドーターボードの取り外し.....	20
VGA ドーターボードの取り付け.....	21
イントルージョンスイッチの取り外し.....	21
イントルージョンスイッチの取り付け.....	22
SD カードリーダーの取り外し.....	22

SD カードリーダーの取り付け.....	23
オプションの SSD カードの取り付け.....	23
オプションの SSD カードの取り外し.....	25
システム基板の取り外し.....	25
システム基板の取り付け.....	27
システム基板のレイアウト.....	28
3 コンピュータのトラブルシューティング.....	30
診断電源 LED コード.....	30
診断エラーメッセージ.....	31
システムエラーメッセージ.....	36
4 セットアップユーティリティ.....	38
Boot Sequence.....	38
ナビゲーションキー.....	38
セットアップユーティリティの概要.....	39
セットアップユーティリティへのアクセス.....	39
セットアップユーティリティオプション.....	39
セットアップユーティリティオプション.....	48
BIOS のアップデート	56
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	57
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	58
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	58
5 仕様.....	60
6 デルへのお問い合わせ.....	65

コンピュータ内部の作業

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

 **警告:** すべての電源を外してから、コンピュータカバーまたはパネルを開きます。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。

 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属の「安全に関する情報」をお読みください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスのホームページ (www.Dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります（「コンピュータの電源を切る」を参照）。

 **注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

3. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
4. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

5. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。
6. カバーを取り外します。

△ 注意: コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

コンピュータの電源を切る

△ 注意: データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. コンピュータの電源を切る：
 - Windows 10 の場合（タッチ対応デバイスまたはマウスを使用）：
 1. スタートアイコンを .
 2. 電源アイコンを  次に **Shut down（シャットダウン）** をクリックまたはタッチします。
 - Windows 8 の場合（タッチ対応デバイスを使用）：
 1. 画面の右端からスワイプインして、**チャームメニュー**を開き、**Settings（設定）**を選択します。
 2. 電源アイコンを  次に **Shut down（シャットダウン）** をタップします。
 - Windows 8 の場合（マウスを使用）：
 1. 画面の右上隅をポイントし、**Settings（設定）** をクリックします。
 2. 電源アイコンを  次に **Shut down（シャットダウン）** を選択します。
 - Windows 7 の場合：
 1. **Start（開始）** をクリックします。
 2. **Shut Down（シャットダウン）** をクリックします。
2. コンピュータと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピュータとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押したままにして電源を切ります。

コンピュータ内部の作業を終えた後に

取り付け手順が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルが接続されていることを確認してください。

1. カバーを取り付けます。

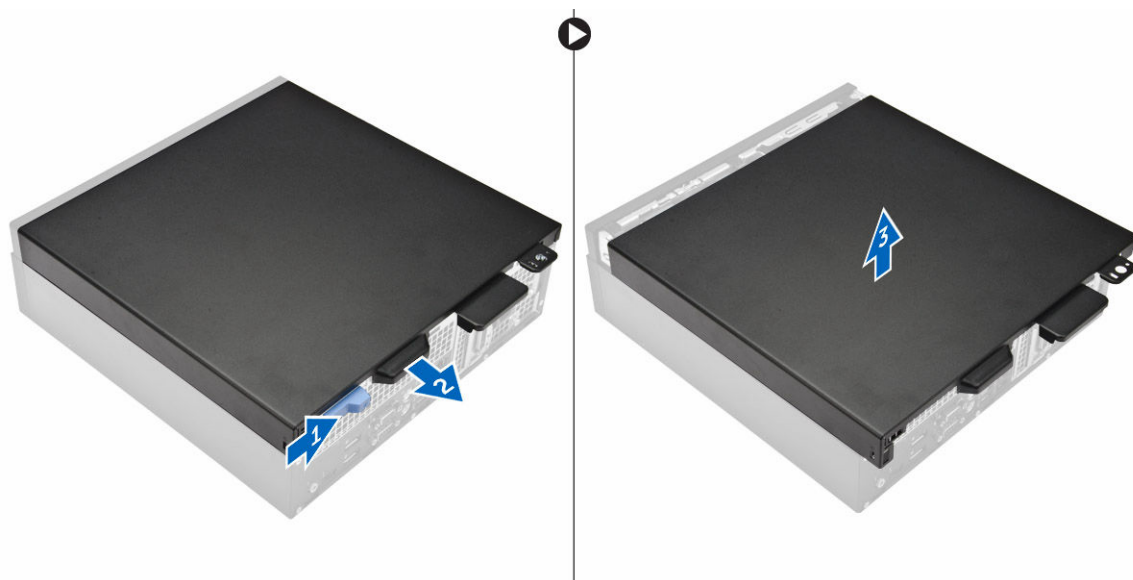
△ 注意: ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。
3. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。
5. 必要に応じて **Dell 診断プログラム** を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します。

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピュータからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

カバーの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. カバーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. カバーをコンピュータの背面に向けてスライドさせます [2]。
 - b. カバーを持ち上げて、コンピュータから取り外します [3]。



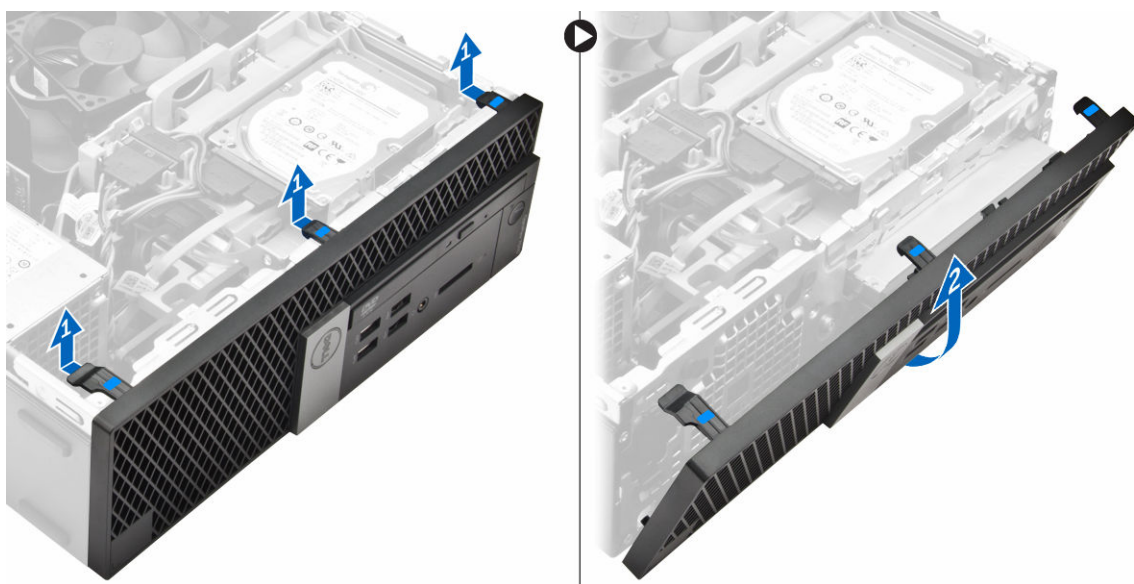
カバーの取り付け

1. コンピュータにカバーをセットし、カチッと所定の位置に収まるまでスライドさせます。
2. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

前面ベゼルの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. [カバー](#)を取り外します。
3. 前面ベゼルを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. タブを持ち上げて前面ベゼルをコンピュータから外します [1]。

b. 前面ベゼルをコンピュータから取り外します [2]。

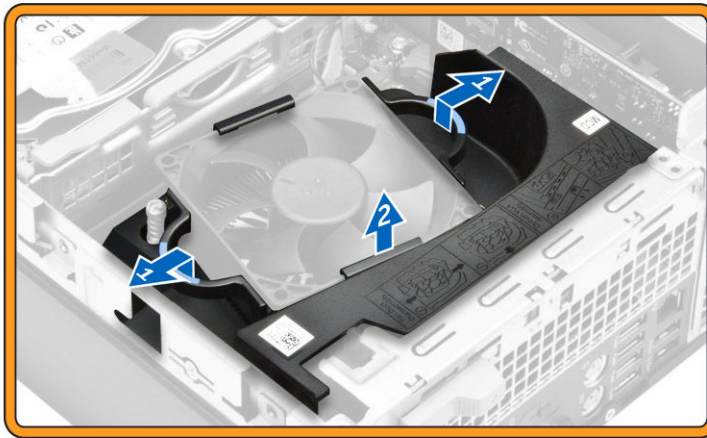


前面ベゼルの取り付け

1. ベゼルのタブをコンピュータのスロットに挿入します。
2. タブがカチッと所定の位置に収まるまで、ベゼルを押し込みます。
3. [カバー](#)を取り付けます。
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

ファンダクトの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [カバー](#)を取り外します。
3. ファンダクトを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. タッチポイントを持って、ファンダクトブラケットを引きファンダクトを外します [1]。
 - b. ファンダクトを持ち上げて、コンピュータから取り外します [2]。

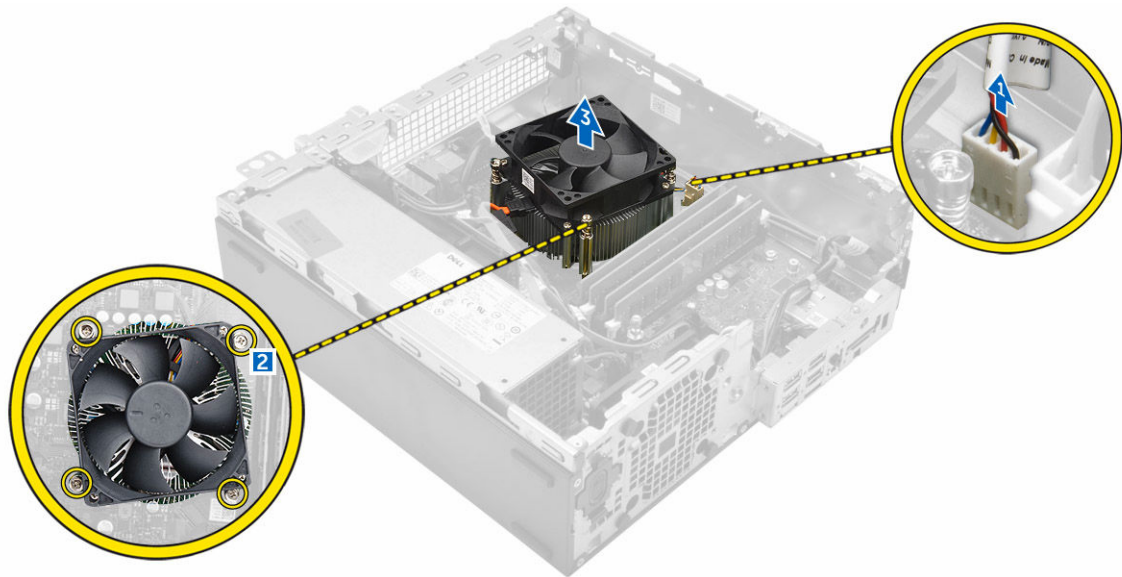


ファンダクトの取り付け

1. ファンダクトのスロットをヒートシンクのネジの位置に合わせます。
2. ファンダクトをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。
3. [カバー](#)を取り付けます。
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

ヒートシンクアセンブリの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [ファンダクト](#)
 - d. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - e. [オプティカルドライブ](#)
3. ヒートシンクアセンブリを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. ヒートシンクケーブルをシステム基板から外します [1]。
 - b. ヒートシンクアセンブリを固定している拘束ネジを緩め、持ち上げてコンピュータから取り外します [2][3]。



ヒートシンクアセンブリの取り付け

1. ヒートシンクアセンブリをプロセッサにセットします。
2. ヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定する拘束ネジを締めます。
3. ヒートシンクケーブルをシステム基板に接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ファンダクト](#)
 - b. [オプティカルドライブ](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [前面ベゼル](#)
 - e. [カバー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

プロセッサの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [オプティカルドライブ](#)
 - e. [ファンダクト](#)
 - f. [ヒートシンク](#)
3. プロセッサを取り外すには：
 - a. レバーを押し下げてプロセッサシールドのタブの下からソケットレバーを外します [1]。
 - b. レバーを持ち上げて、プロセッサシールドを持ち上げます [2]。
 - c. プロセッサを持ち上げて、ソケットから外します [3]。

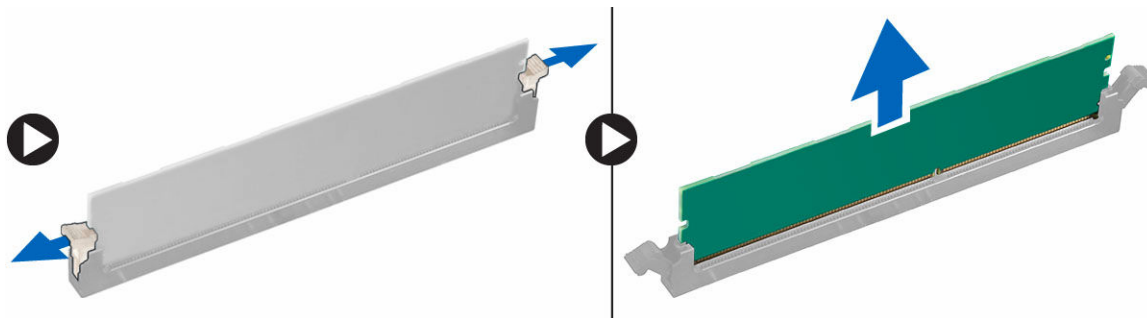


プロセッサの取り付け

1. プロセッサをソケットキーに合わせます。
2. プロセッサのピン 1 インジケータをソケットの三角形に揃えます。
3. プロセッサのソケットがソケットキーに合うように、プロセッサをソケットに置きます。
4. プロセッサシールドを固定ネジの下にスライドさせて閉じます。
5. ソケットレバーを下げてタブの下に押し込んでロックします。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ヒートシンク](#)
 - b. [ファンダクト](#)
 - c. [オプティカルドライブ](#)
 - d. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - e. [前面ベゼル](#)
 - f. [カバー](#)
7. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

メモリモジュールの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [ファンダクト](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [オプティカルドライブ](#)
3. メモリモジュールを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. メモリモジュールの両側にあるメモリモジュールの固定タブを押します。
 - b. システム基板のメモリモジュールコネクタからメモリモジュールを持ち上げます。

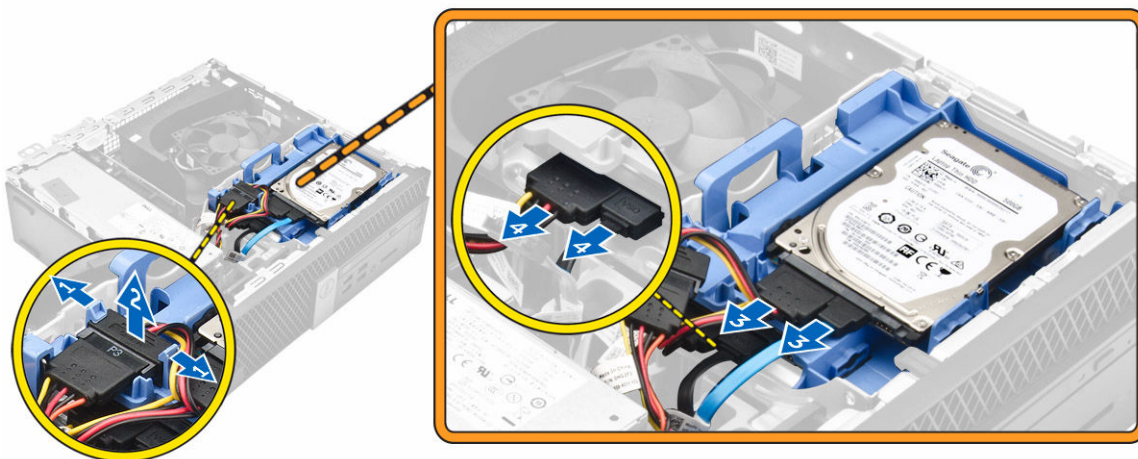


メモリモジュールの取り付け

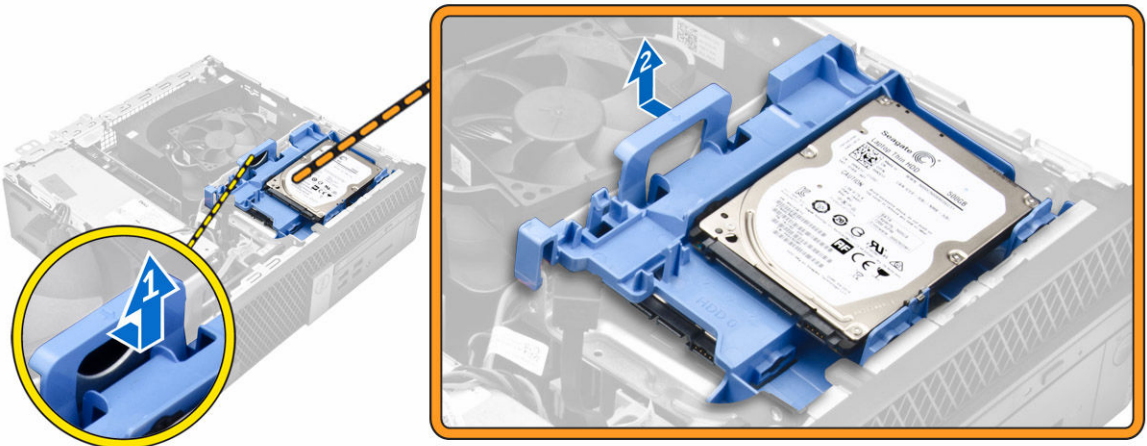
1. メモリモジュールの切り込みをメモリモジュールコネクタのタブに合わせます。
2. メモリモジュールをメモリモジュールソケットに差し込みます。
3. メモリモジュールの固定タブが所定の位置にカチッと収まるまで、メモリモジュールを押し込みます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [オプティカルドライブ](#)
 - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - c. [ファンダクト](#)
 - d. [カバー](#)
5. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

ハードドライブアセンブリの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [ファンダクト](#)
3. ハードドライブアセンブリを外すには、次の手順を実行します。
 - a. 固定タブを押して電源コネクタを取り外します [1、2]。
 - b. データケーブルと電源ケーブルをハードドライブから外します [3、4]。

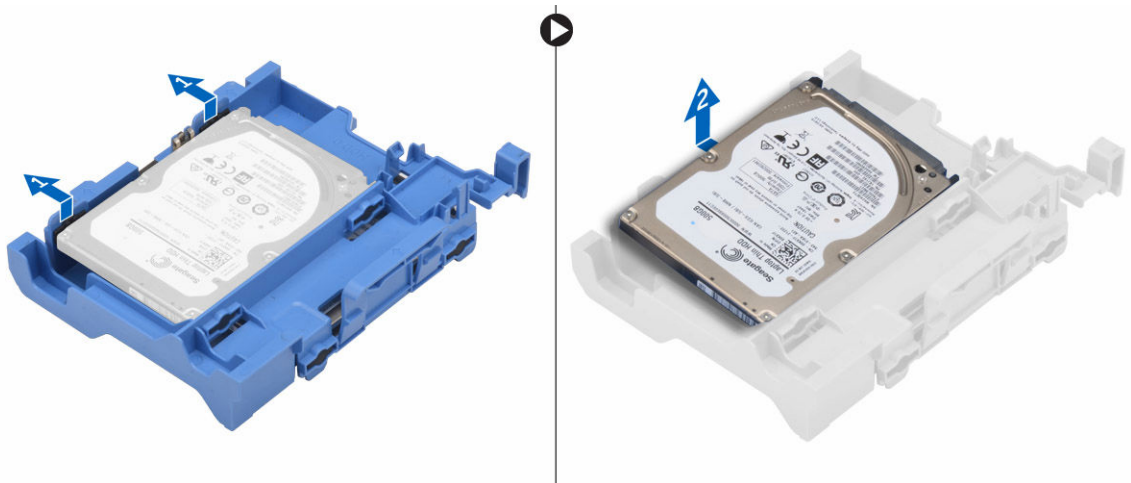


4. ハードドライブアセンブリを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. ハードドライブリリースハンドルを手前に引いて、ハードドライブブラケットをコンピュータから外します [1]。
 - b. ハードドライブアセンブリを持ち上げてコンピュータから取り外します [2]。



ハードドライブブラケットからのハードドライブの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [ベゼル](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
3. ハードドライブブラケットを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. ハードドライブブラケットを引いて、ハードドライブを外します [1]。
 - b. ハードドライブを持ち上げてハードドライブブラケットから取り外します [2]。



ハードドライブブラケットへのハードドライブの取り付け

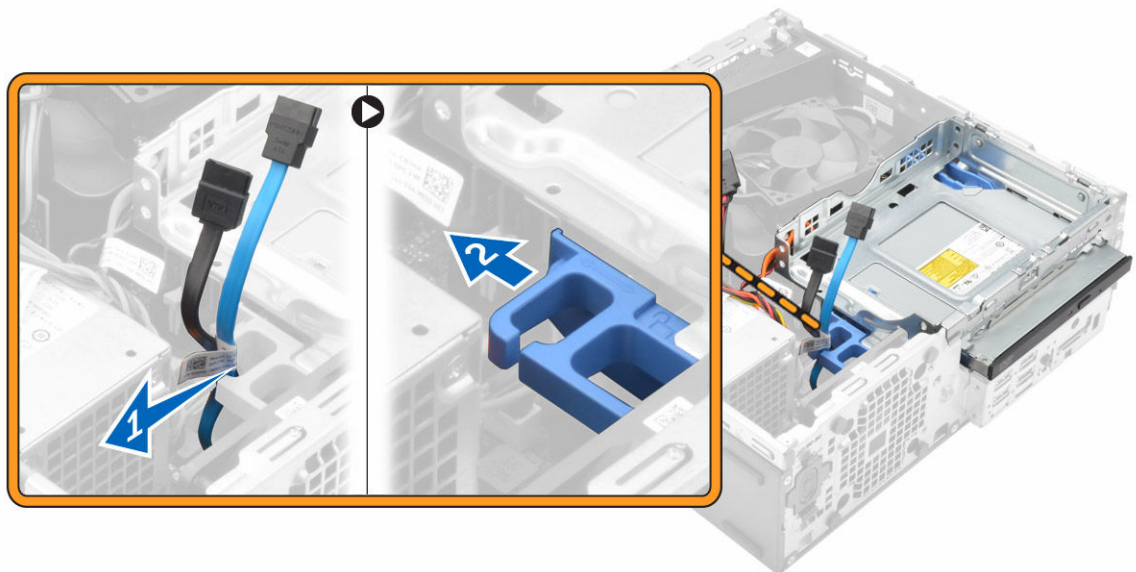
1. ハードドライブをカチッと所定の位置に収まるまで、ハードドライブブラケットに挿入します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - b. [ベゼル](#)
 - c. [カバー](#)
3. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

ハードドライブアセンブリの取り付け

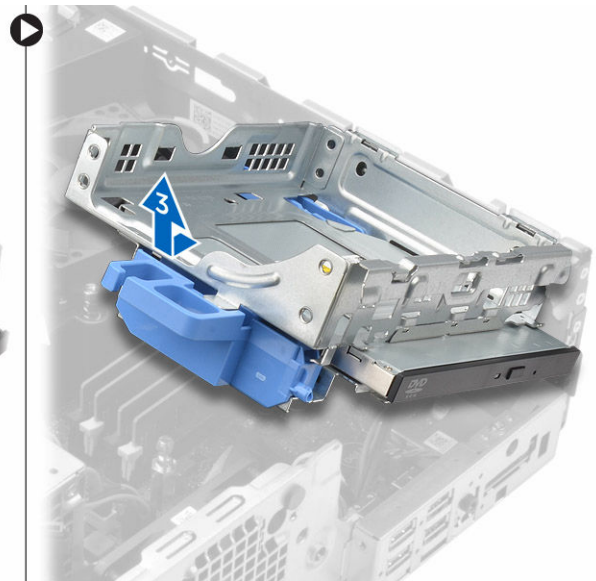
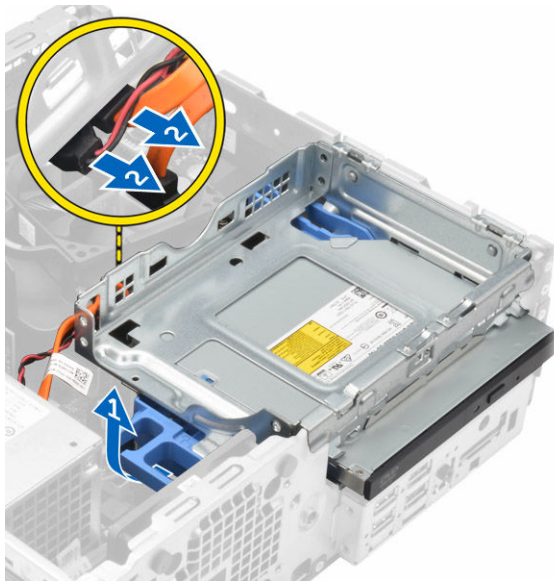
1. ハードドライブアセンブリをコンピュータのスロットに差し込みます。
2. 電源ケーブルをハードドライブブラケットのスロットに接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ファンダクト](#)
 - b. [カバー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

オプティカルドライブの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
3. オプティカルドライブを外すには、次の手順を実行します。
 - a. ハードドライブコネクタケーブルをオプティカルドライブラッチから取り外します [1]。
 - b. 青色のラッチをロック解除の位置にスライドさせます [2]。



4. オプティカルドライブを取り外すには、次の手順を実行します。
- 青色のラッチを持ち [1]、オプティカルドライブケースを持ち上げてケーブルをオプティカルドライブから外します [2]。
 - オプティカルドライブケースを持ち上げて、コンピュータから取り外します [3]。



5. オプティカルドライブをオプティカルドライブケースから取り外すには、次の手順を実行します。
- オプティカルドライブリリースラッチを押して [1]、オプティカルドライブを前方にスライドさせます [2]。
 - オプティカルドライブをオプティカルドライブケースから取り外します [3]。

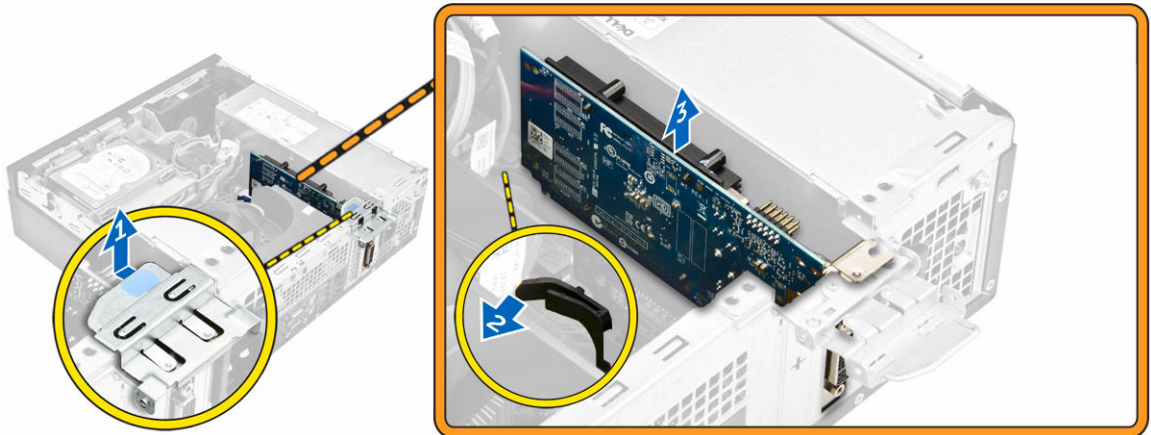


オプティカルドライブの取り付け

1. オプティカルドライブをオプティカルドライブケースに差し込みます。
2. オプティカルケースのタブをコンピュータのスロットに合わせます。
3. オプティカルドライブケースをコンピュータに下ろし、ラッチをロックします。
4. データケーブルと電源ケーブルをオプティカルドライブに接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [カバー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

拡張カードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [ファンダクト](#)
3. 拡張カードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. 金属製のタブを引いて拡張カードラッチを開きます [1]。
 - b. タブを前方に引いて [2]、拡張カードをコンピュータのコネクタから引き出します [3]。



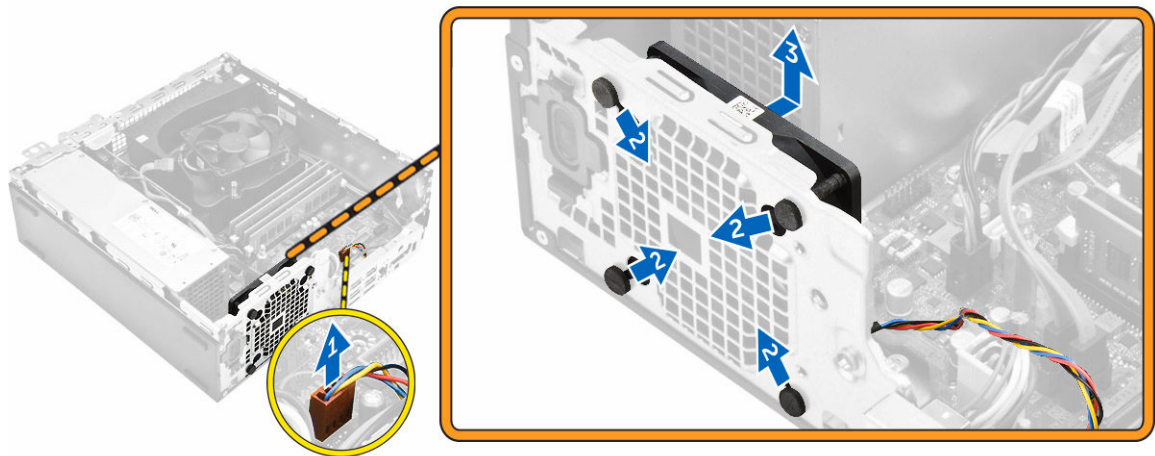
拡張カードの取り付け

1. 拡張カードをシステム基板のコネクタに差し込みます。
2. 拡張カードが所定の位置にカチッと収まるまで押します。
3. 拡張カードラッチを閉じて、所定の位置にカチッと収まるまで押し込みます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ファンダクト](#)
 - b. [カバー](#)

5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

システムファンの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [オプティカルドライブ](#)
3. システムファンを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. システムファンケーブルをシステム基板から外します [1]。
 - b. ファングロメットを後壁のスロットに向かってスライドさせます [2]。
 - c. ファンを持ち上げて、コンピュータから取り外します [3]。



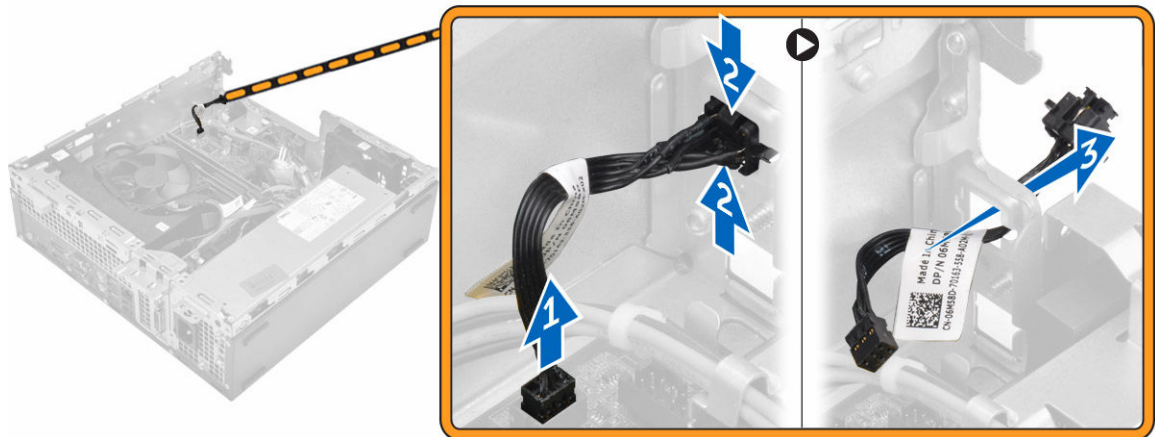
システムファンの取り付け

1. システムファンをコンピュータ内に置きます。
2. ハトメをシャーシに通し、ネジ溝に沿って外側に向けてスライドさせて、所定の位置に固定します。
3. システム基板にシステムファンケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [オプティカルドライブ](#)
 - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - c. [前面ベゼル](#)
 - d. [カバー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

電源スイッチの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。

- a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [オプティカルドライブ](#)
 - e. [電源装置ユニット](#)
3. 電源スイッチを取り外すには、次の手順を実行します。
- a. 電源スイッチケーブルをシステム基板から外します [1]。
 - b. 電源スイッチ固定タブを押して、シャーシから取り外します [2][3]。



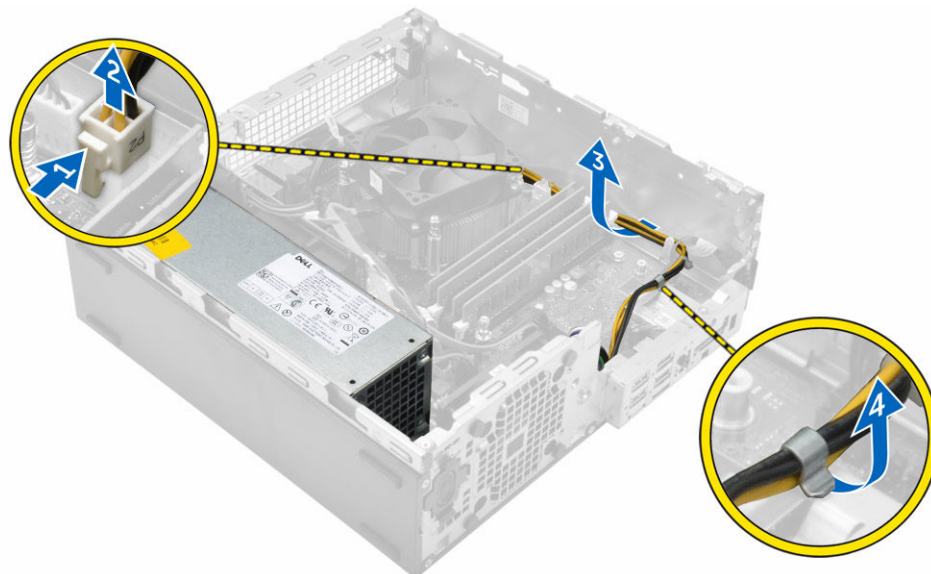
電源スイッチの取り付け

1. 電源スイッチモジュールをカチッと所定の位置に収まるまでシャーシのスロットに差し込みます。
2. 電源スイッチケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [電源装置ユニット](#)
 - b. [オプティカルドライブ](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [前面ベゼル](#)
 - e. [カバー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

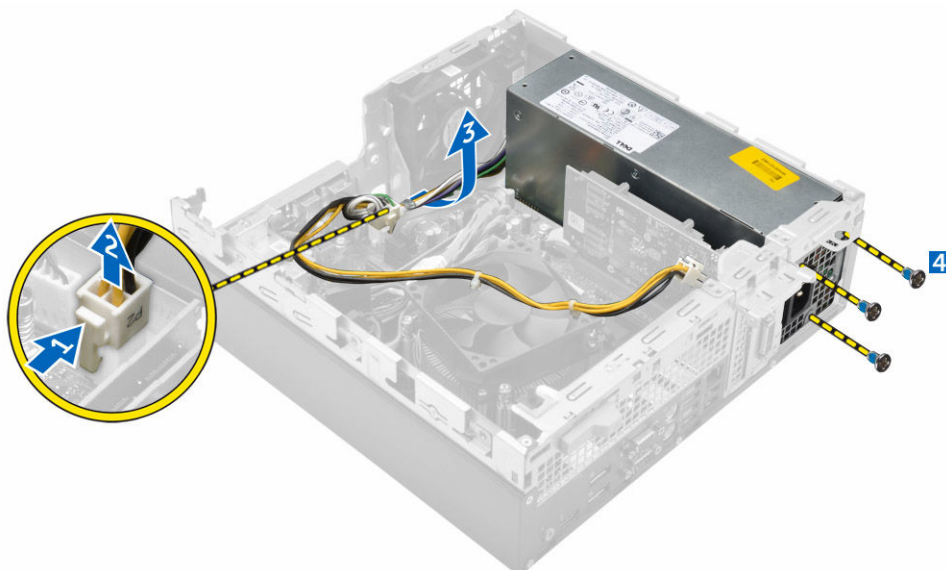
電源装置ユニット（PSU）の取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [オプティカルドライブ](#)
 - e. [ファンダクト](#)
3. PSU を外すには、次の手順を実行します。

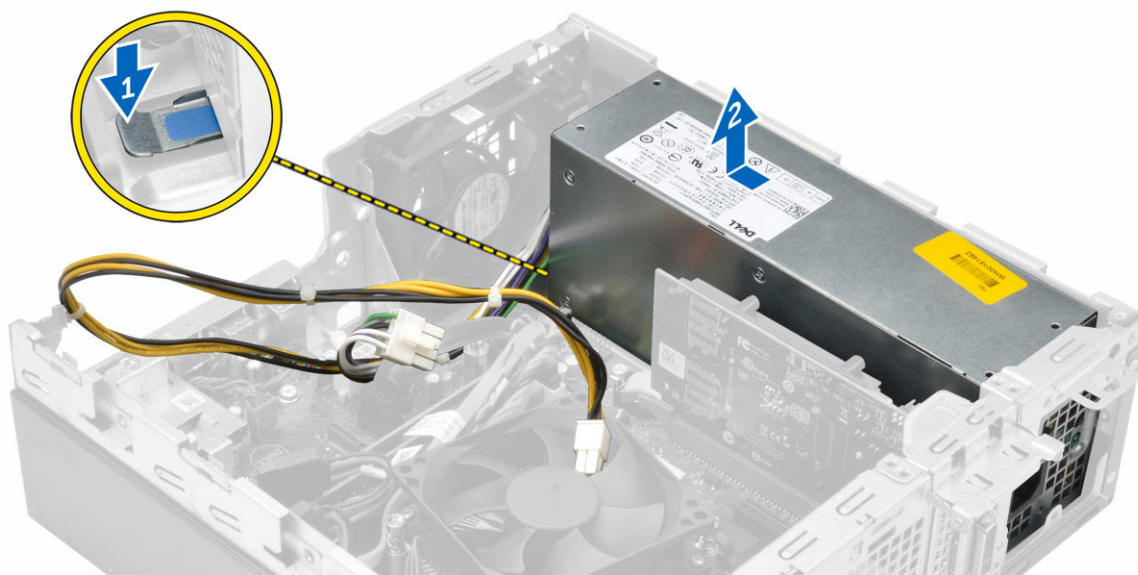
- a. 電源ケーブルをシステム基板から外します [1] [2]。
- b. 電源ケーブルの配線をシャーシの固定クリップから外します [3] [4]。



4. PSU を取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. 電源ケーブルをシステム基板から外します [1] [2]。
 - b. ケーブルを持ち上げて、コンピュータから取り外します[3]。
 - c. PSU をコンピュータに固定しているネジを外します [4]。



5. 青色のリリースタブを押して [1]、PSU をスライドさせ持ち上げてコンピュータから取り外します [2]。

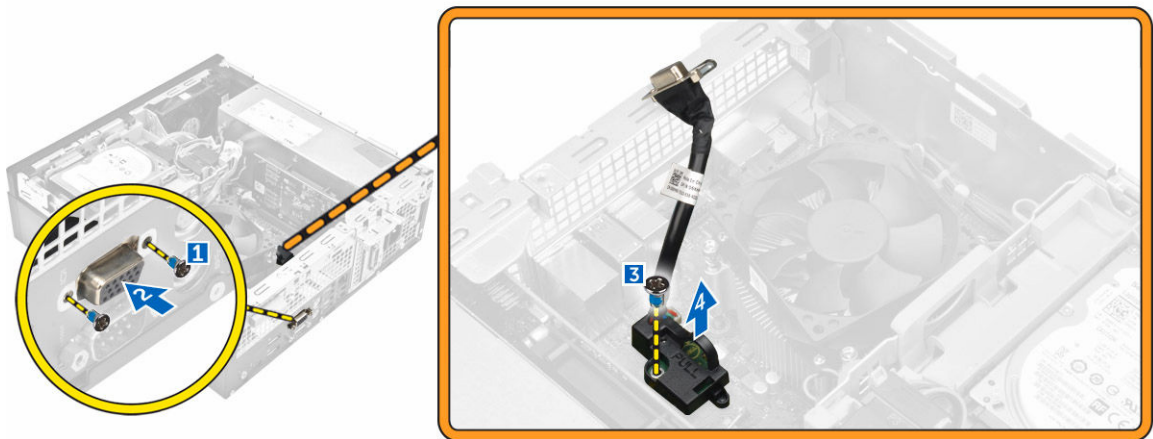


電源装置ユニット（PSU）の取り付け

1. PSU をシャーシに挿入し、コンピュータの背面に向かってスライドさせて固定します。
2. ネジを締めて PSU をコンピュータの背面に固定します。
3. PSU ケーブルを固定クリップに通して配線します。
4. 電源ケーブルをシステム基板に接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ファンダクト](#)
 - b. [オプティカルドライブ](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [前面ベゼル](#)
 - e. [カバー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

VGA ドーターボードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [ファンダクト](#)
3. VGA ドーターボードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. VGA コネクタをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b. VGA コネクタをスライドさせて、コンピュータから外します [2]。
 - c. VGA ドーターボードをコンピュータに固定しているネジを外します [3]。
 - d. ハンドルを使用して、VGA ドーターボードを持ち上げてコンピュータから取り外します [4]。

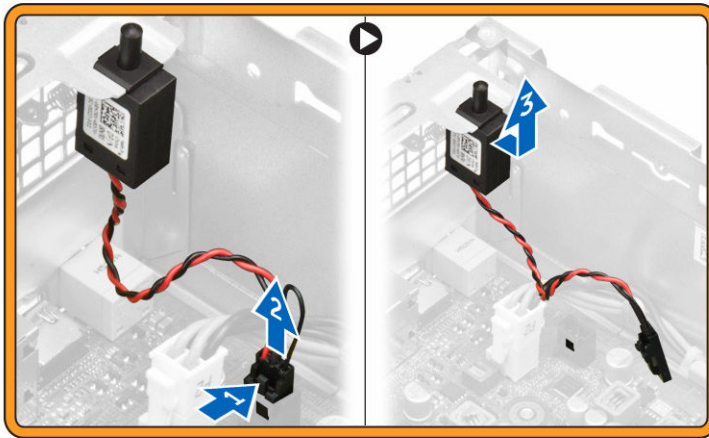


VGA ドーターボードの取り付け

1. VGA ドーターボードをシステム基板のネジホルダーに合わせます。
2. ネジを締めて VGA ドーターボードをシステム基板に固定します。
3. VGA コネクタをコンピュータの背面にあるスロットに挿入します。
4. ネジを締めて VGA コネクタをコンピュータに固定します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ファンダクト](#)
 - b. [カバー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

イントルージョンスイッチの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [ファンダクト](#)
3. イントルージョンスイッチを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. システム基板のコネクタからイントルージョンスイッチケーブルを外します [1][2]。
 - b. イントルージョンスイッチをスライドさせて持ち上げ、コンピュータから取り外します [3]。

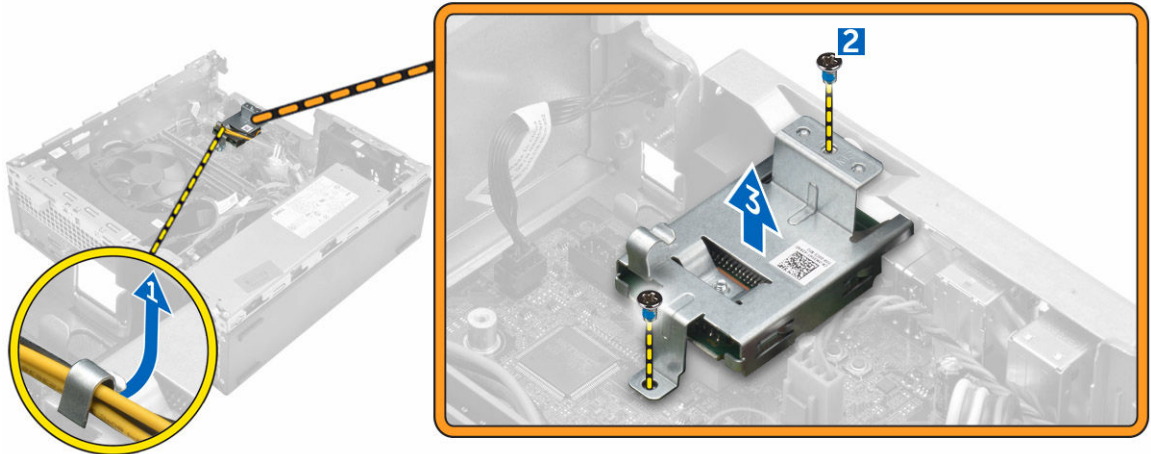


イントルージョンスイッチの取り付け

1. イントルージョンスイッチをシャーシのスロットに差し込みます。
2. イントルージョンスイッチケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ファンダクト](#)
 - b. [カバー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

SD カードリーダーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [オプティカルドライブ](#)
 - e. [電源装置ユニット](#)
3. SD カードリーダーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. 電源装置ユニットのケーブルを SD カードリーダーエンクロージャの固定クリップから取り外します [1]。
 - b. SD カードリーダーを固定しているネジを外し、持ち上げてコンピュータから取り外します [2] [3]。



SD カードリーダーの取り付け

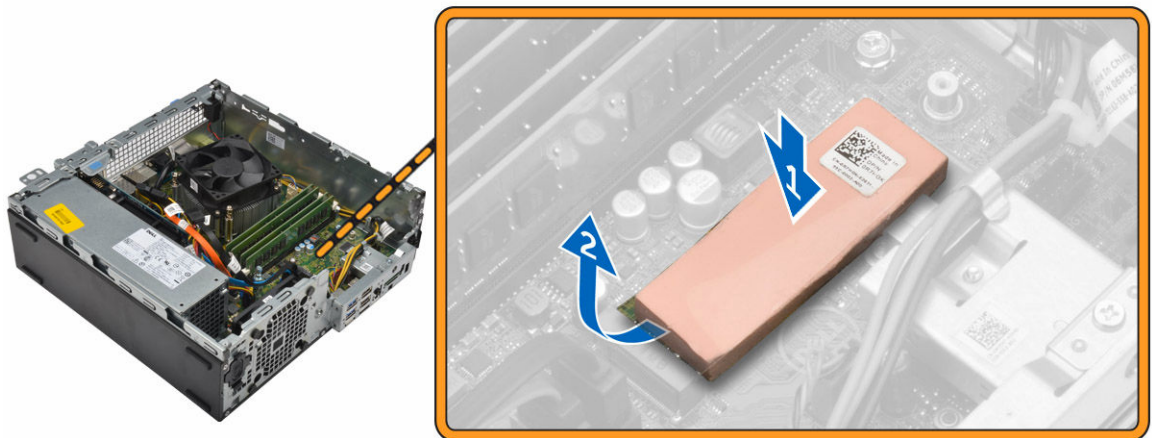
1. SD カードリーダーをシャーシにセットします。
2. SD カードリーダーをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 電源装置ユニットのケーブルを固定クリップに配線します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [電源装置ユニット](#)
 - b. [オプティカルドライブ](#)
 - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - d. [前面ベゼル](#)
 - e. [カバー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

オプションの SSD カードの取り付け

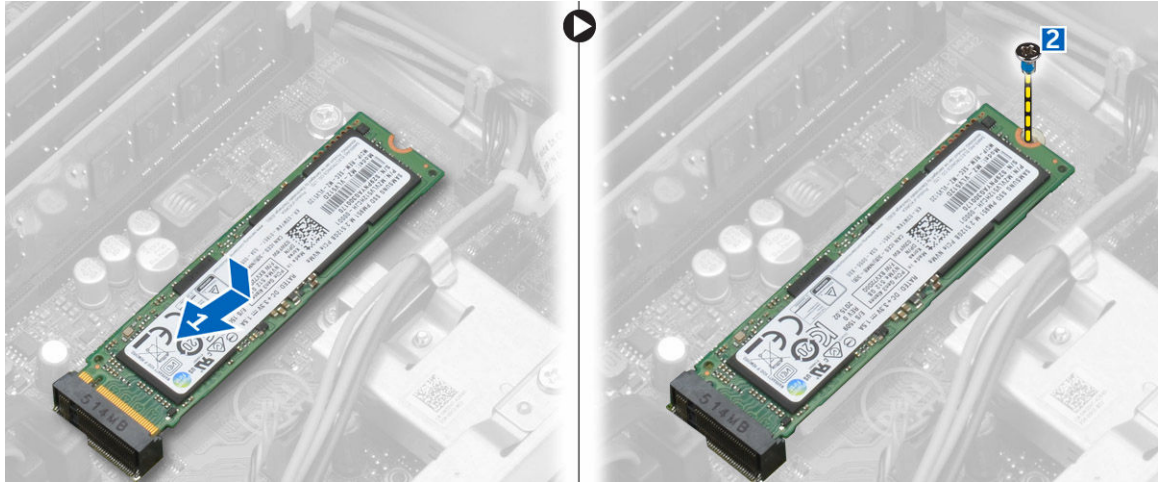
1. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
2. 粘着テープ（青色）をラバーからはがします。



3. ラバーをコンピュータにセットして [1]、粘着テープ（ピンク）をラバーからはがします [2]。



4. SSD カードを取り付けるには、次の手順を実行します。
- a. SSD カードをシステム基板のコネクタに接続します [1]。
 - b. ネジを締めて SSD カードをシステム基板に固定します [2]。



オプションの SSD カードの取り外し

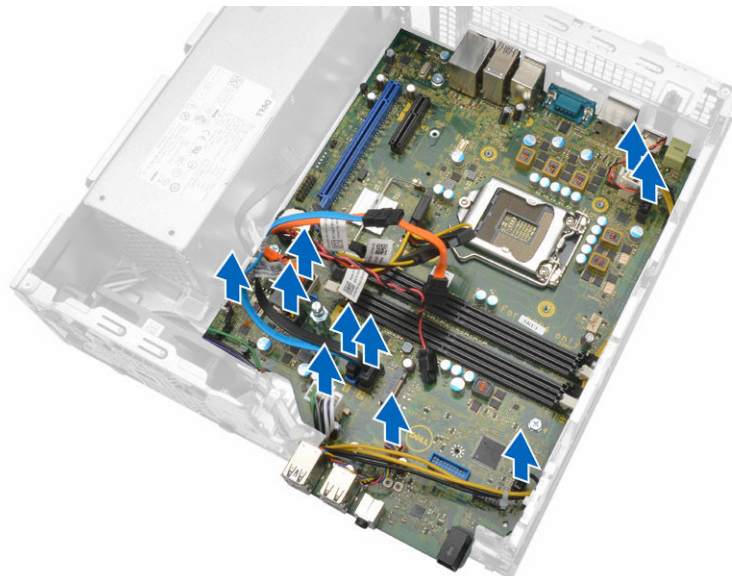
1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [前面ベゼル](#)
3. SSD カードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. SSD カードをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - b. SSD カードをコネクタから外します。
 - c. SSD カードを持ち上げます。
 - d. ゴム系接着剤をシステム基板からはがします。

システム基板の取り外し

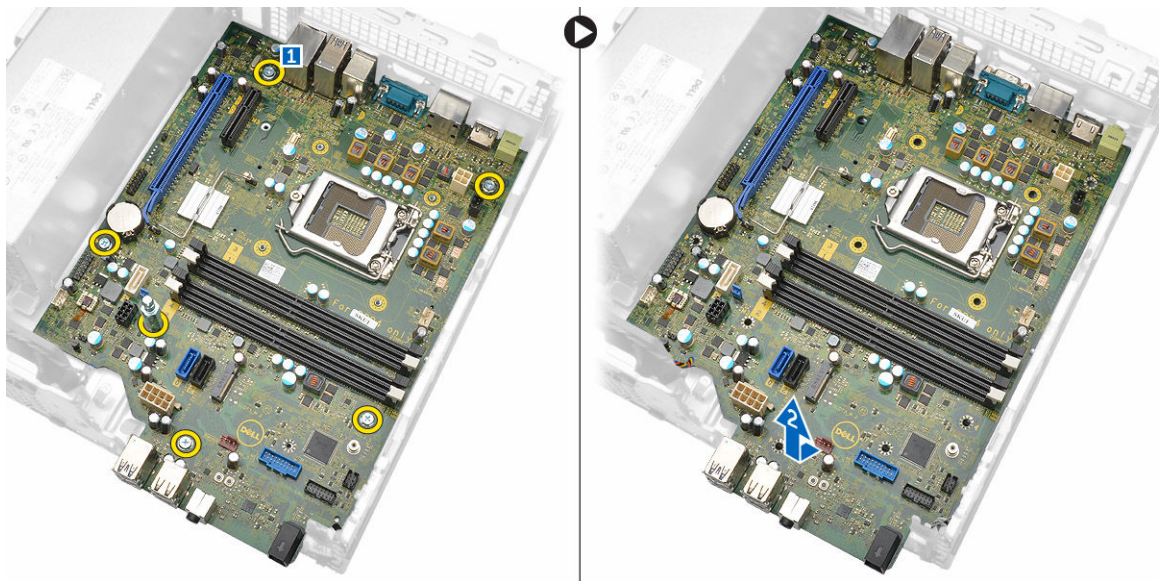
1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [カバー](#)
 - b. [ファンダクト](#)
 - c. [前面ベゼル](#)
 - d. [メモリモジュール](#)
 - e. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - f. [オプティカルドライブ](#)
 - g. [拡張カード](#)
 - h. [オプションの SSD カード](#)
 - i. [SD カードリーダー](#)
 - j. [VGA ドーターボード](#)
 - k. [ヒートシンク](#)
 - l. [プロセッサ](#)
3. I/O パネルを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. I/O パネルをシャーシに固定しているネジを外します [1]。
 - b. I/O パネルをコンピュータから取り外します [2]。



4. システム基板に接続されているケーブルをすべて外します。



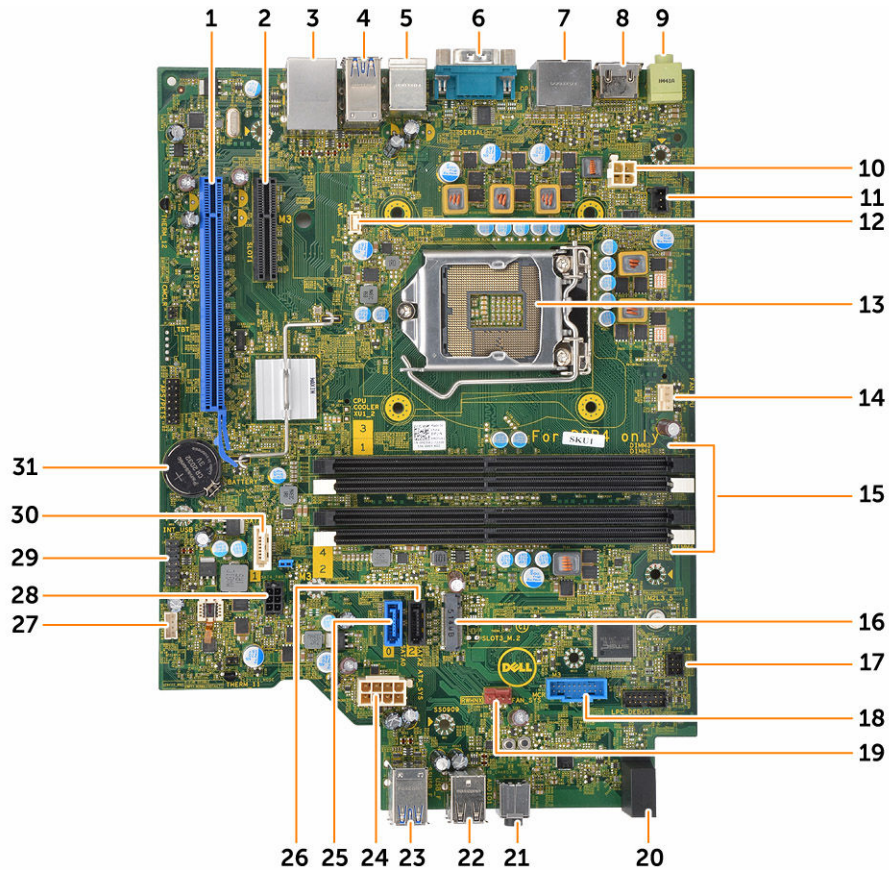
5. システム基板を取り外すには、次の手順を実行します。
- システム基板をコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - システム基板をコンピュータの前面に向けてスライドさせ、持ち上げてコンピュータから取り外します [2]。



システム基板の取り付け

1. システム基板の両端をつかみ、コンピュータの背面に向けて傾けます。
2. システム基板の背面にあるコネクタがコンピュータの背面の壁にあるスロットと揃い、システム基板のネジ穴がコンピュータの突起と揃うまで、システム基板をコンピュータに下ろします。
3. システム基板をコンピュータに固定するネジを締めます。
4. システム基板にケーブルを接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [VGA ドーターボード](#)
 - b. [SD カードリーダー](#)
 - c. [オプションの SSD カード](#)
 - d. [拡張カード](#)
 - e. [プロセッサ](#)
 - f. [ヒートシンク](#)
 - g. [オプティカルドライブ](#)
 - h. [ハードドライブアセンブリ](#)
 - i. [メモリモジュール](#)
 - j. [前面ベゼル](#)
 - k. [ファンダクト](#)
 - l. [カバー](#)
6. I/O パネルをシャーシにセットします。
7. ねじを締めて I/O パネルをシャーシに固定します。
8. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

システム基板のレイアウト



- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. PCIe16 コネクタ | 2. PCIe4 コネクタ |
| 3. RJ-45/USB 2.0 コネクタ | 4. USB 3.0 コネクタ |
| 5. PS2 キーボード/MS コネクタ | 6. シリアルポートコネクタ |
| 7. DisplayPort コネクタ | 8. HDMI コネクタ |
| 9. ライン出力コネクタ | 10. CPU 電源コネクタ |
| 11. インテルジョンスイッチコネクタ | 12. VGA ドーターボードコネクタ |
| 13. プロセッサ | 14. CPU ファンコネクタ |
| 15. メモリモジュールコネクタ | 16. M.2 ソケット 3 コネクタ |
| 17. 電源スイッチコネクタ | 18. メディアカードリーダーコネクタ |
| 19. システムファンコネクタ | 20. ハードドライブアクティビティ LED |
| 21. ユニバーサルオーディオジャック | 22. USB 2.0 コネクタ |
| 23. USB 3.0 コネクタ | 24. ATX 電源コネクタ |
| 25. SATA2 コネクタ | 26. SATA0 コネクタ |

- 27. 内蔵スピーカーコネクタ
- 28. ハードドライブおよびオプティカルドライブ
電源ケーブルコネクタ
- 29. 内部 USB コネクタ
- 30. SATA1 コネクタ
- 31. コイン型電池

コンピュータのトラブルシューティング

診断ライト、ビーブコード、およびエラーメッセージなどのインジケータを使って、コンピュータの操作中にトラブルシューティングを行うことができます。

診断電源 LED コード

表 1. 診断電源 LED コード

電源 LED ライトステータス	考えられる原因	トラブルシューティングの手順
オフ	コンピュータの電源が切れている、コンピュータに電力が供給されていない、あるいは休止状態モードです。	- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントにしっかりと取り付け直します。 - コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され、オンになっていることを確認します。また、電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルを使用しなくても、コンピュータに正しく電源が入ることを確認します。 - 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能していることを確認します。
橙色の点灯 / 点滅	コンピュータは POST を終了できないか、またはプロセッサに障害が発生しています。	- すべてのカードを取り外して、もう一度取り付けます。 - グラフィックスカードを取り付けている場合は、取り外して、もう一度取り付けます。 - 電源ケーブルがシステム基板とプロセッサに接続されていることを確認します。
白色のライトがゆっくり点滅	コンピュータはスリープモードになっています。	- 電源ボタンを押して、コンピュータをスリープモードから移行させます。 - すべての電源ケーブルがシステム基板に

電源 LED ライトステータス	考えられる原因	トラブルシューティングの手順
		しっかりと接続されていることを確認します。 主電源ケーブルと前面パネルケーブルがシステム基板に接続されていることを確認します。
白色の点灯	コンピュータは十分に機能しており、オンの状態です。	コンピュータが応答しない場合は、次の手順を実行します。 - ディスプレイが接続されていること、電源が入っていることを確認します。 - ディスプレイが接続され、電源が入っている場合、ビープコードを聞いて確認します。

診断エラーメッセージ

表 2. 診断エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
AUXILIARY DEVICE FAILURE (補助デバイス障害)	タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスの場合、ケーブル接続を確認してください。セットアップユーティリティプログラムで Pointing Device (ポインティングデバイス) オプションを有効にしてください。
BAD COMMAND OR FILE NAME (コマンド名またはファイル名が正しくありません)	コマンドのスペルは正しいか、空白の位置は正しいか、パス名は正しいかを確認してください。
CACHE DISABLED DUE TO FAILURE (障害によりキャッシュが無効になりました)	マイクロプロセッサ内蔵の 1 次キャッシュに障害が発生しました。 デルにお問い合わせください 。
CD DRIVE CONTROLLER FAILURE (CD ドライブコントローラ障害)	コンピュータからのコマンドにオプティカルドライブが応答しません。
Data Error (データエラー)	ハードドライブからデータを読むことができません。
DECREASING AVAILABLE MEMORY (使用可能なメモリが減少しています)	1 つ以上のメモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば、交換します。
Disk C: failed initialization (ディスク C: の初期化に失敗しました)	ハードドライブの初期化に失敗しました。 Dell Diagnostics (診断) でハードドライブのテストを実行してください。

エラーメッセージ	説明
DRIVE NOT READY (ドライブの準備ができていません)	操作を続けるにはベイにハードドライブが必要です。ハードドライブをハードドライブベイに取り付けてください。
ERROR READING PCMCIA CARD (PCMCIA カードの読み取りエラー)	コンピュータは ExpressCard を識別できません。カードを入れ直すか、別のカードを試してみてください。
EXTENDED MEMORY SIZE HAS CHANGED (拡張メモリの容量が変更されています)	不揮発性メモリ (NVRAM) に記録されているメモリ容量がコンピュータに取り付けられているメモリモジュールと一致しません。コンピュータを再起動してください。エラーが再度表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
THE FILE BEING COPIED IS TOO LARGE FOR THE DESTINATION DRIVE (コピーするファイルはコピー先のドライブには大きすぎます)	コピーしようとしているファイルが大きすぎてディスクに収まらないか、またはディスクが満杯の状態です。別のディスクにコピーするか、または容量のより大きなディスクを使用してください。
A FILENAME CANNOT CONTAIN ANY OF THE FOLLOWING CHARACTERS: \ / : * ? " < > - (次の文字はファイル名に使用できません: \ / : * ? " < > -)	これらの文字をファイル名に使用しないでください。
GATE A20 FAILURE (ゲート A20 障害)	メモリモジュールがしっかりと装着されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
GENERAL FAILURE (一般的な障害)	オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常では、Printer out of paper (プリンターの用紙がありません) のように、問題を特定するメッセージが続けて表示されますので、適切な対応を取ってください。
HARD-DISK DRIVE CONFIGURATION ERROR (ハードディスクドライブ設定エラー)	コンピュータがドライブのタイプを識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、オプティカルドライブからコンピュータを起動してください。続いて、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics (診断) で Hard Disk Drive (ハードディスクドライブ) のテストを実行してください。
HARD-DISK DRIVE CONTROLLER FAILURE 0 (ハードディスクドライブコントローラー障害 0)	ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、オプティカルドライブからコンピュータを起動してください。続いて、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は、別のドライブをお試ください。Dell Diagnostics (診断) で Hard Disk Drive

エラーメッセージ	説明
HARD-DISK DRIVE FAILURE (ハードディスクドライブ障害)	(ハードディスクドライブ) のテストを実行してください。 ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、オプティカルドライブからコンピュータを起動してください。続いて、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は、別のドライブをお試しください。 Dell Diagnostics (診断) で Hard Disk Drive (ハードディスクドライブ) のテストを実行してください。
HARD-DISK DRIVE READ FAILURE (ハードディスクドライブ読み取り障害)	ハードドライブに欠陥がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、オプティカルドライブからコンピュータを起動してください。続いて、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。 Dell Diagnostics (診断) で Hard Disk Drive (ハードディスクドライブ) のテストを実行してください。
INSERT BOOTABLE MEDIA (起動可能メディアの挿入)	オペレーティングシステムは、オプティカルドライブなどの起動できないメディアで起動しようとしています。起動可能なメディアを挿入してください。
INVALID CONFIGURATION INFORMATION- PLEASE RUN SYSTEM SETUP PROGRAM (無効な設定情報 - セットアップユーティリティを実行してください)	システムの設定情報はハードウェアの構成と一致していません。このエラーが発生する可能性が最も高いのは、メモリモジュールを取り付けた後です。セットアップユーティリティでオプションを適切に修正してください。
KEYBOARD CLOCK LINE FAILURE (キーボードクロックライン障害)	外付けキーボードの場合、ケーブル接続を確認してください。 Dell Diagnostics (診断) で Keyboard Controller (キーボードコントローラ) のテストを実行してください。
KEYBOARD CONTROLLER FAILURE (キーボードコントローラー障害)	外付けキーボードの場合、ケーブル接続を確認してください。コンピュータを再起動します。起動中にはキーボードやマウスに触れないでください。 Dell Diagnostics (診断) で Keyboard Controller (キーボードコントローラ) のテストを実行してください。
KEYBOARD DATA LINE FAILURE (キーボードデータライン障害)	外付けキーボードの場合、ケーブル接続を確認してください。 Dell Diagnostics (診断) で Keyboard Controller (キーボードコントローラ) のテストを実行してください。
KEYBOARD STUCK KEY FAILURE (キーボードスタックキー障害)	外付けキーボードや外付けキーパッドの場合、ケーブル接続を確認してください。コンピュータを再起動します。起動中にはキーボードやキーに触れない

エラーメッセージ	説明
LICENSED CONTENT IS NOT ACCESSIBLE IN MEDIADIRECT (MediaDirect ではライセンスコンテンツにアクセスできません)	でください。 Dell Diagnostics (診断) で Stuck Key (スタックキー) のテストを実行してください。 Dell MediaDirect では、そのファイルのデジタル権限管理 (DRM) 制限が検証できないので、そのファイルは再生できません。
MEMORY ADDRESS LINE FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
MEMORY ALLOCATION ERROR (メモリ割り当てエラー)	実行しようとしているソフトウェアは、オペレーティングシステム、ほかのプログラムやユーティリティと競合しています。コンピュータをシャットダウンして、30 秒後に再起動してください。プログラムを再度実行してみます。エラーメッセージがまだ表示される場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
MEMORY DOUBLE WORD LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
MEMORY ODD/EVEN LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
MEMORY WRITE/READ FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
NO BOOT DEVICE AVAILABLE (起動デバイスがありません)	コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが取り付けられて適切に設置されていること、および起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認してください。
NO BOOT SECTOR ON HARD DRIVE (ハードドライブに起動セクターがありません)	オペレーティングシステムが破損している可能性があります。 デルにお問い合わせください 。
NO TIMER TICK INTERRUPT (タイマーティック割り込み信号がありません)	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。 Dell Diagnostics (診断) で System Set (システムセット) のテストを実行してください。
NOT ENOUGH MEMORY OR RESOURCES. EXIT SOME PROGRAMS AND TRY AGAIN (メモリまたはリソースが不足しています。プログラムをいくつか終了して、もう一度試してみてください)	起動しているプログラムが多すぎます。すべてのウィンドウを閉じて、使用したいプログラムを起動してください。
OPERATING SYSTEM NOT FOUND (オペレーティングシステムが見つかりません)	オペレーティングシステムを取り付け直します。問題が解決しない場合は、 デルにお問い合わせください 。

エラーメッセージ	説明
OPTIONAL ROM BAD CHECKSUM (オプション ROM のチェックサムが正しくありません)	オプション ROM に障害が発生しました。 デルにお問い合わせください 。
SECTOR NOT FOUND (セクターが見つかりません)	オペレーティングシステムがハードドライブ上でセクターの位置を確認できません。ハードドライブに欠陥があるセクターがあるか、破損した FAT がある可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を確認してください。手順については、 Windows ヘルプとサポート (Start (スタート) → Help and Support (ヘルプとサポート)) の順にクリック) を参照してください。欠陥があるセクターが多数ある場合は、(可能ならば) データをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットしてください。
SEEK ERROR (シークエラー)	オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。
SHUTDOWN FAILURE (シャットダウン障害)	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。 Dell Diagnostics (診断) で System Set (システムセット) のテストを実行してください。メッセージが再び表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY CLOCK LOST POWER (時刻クロックの電源損失)	システム構成の設定が破損しています。お使いのコンピュータをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。問題が解決しない場合、セットアップユーティリティプログラムを起動して、データを復元してみてください。その後すぐにプログラムを終了します。メッセージが再び表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY CLOCK STOPPED (時刻クロックの停止)	システム構成の設定に対応している予備バッテリーを再充電する必要がある可能性があります。お使いのコンピュータをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。問題が解決しない場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY NOT SET-PLEASE RUN THE SYSTEM SETUP PROGRAM (時刻が設定されていません - セットアップユーティリティを実行してください)	セットアップユーティリティに保存されている時刻または日付がシステムクロックと一致しません。 Date and Time (時刻と日付) オプションの設定を修正してください。
TIMER CHIP COUNTER 2 FAILED (タイマーチップカウンタ 2 障害)	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。 Dell Diagnostics (診断) で System Set (システムセット) のテストを実行してください。
UNEXPECTED INTERRUPT IN PROTECTED MODE (保護モードで想定外の割り込みがありました)	キーボードコントローラーが誤動作しているか、またはメモリモジュールがしっかりと装着されていない可能性があります。 Dell Diagnostics (診断) で

エラーメッセージ	説明
	System Memory (システムメモリ) のテストと Keyboard Controller (キーボードコントローラ) のテストを実行するか、または デルにお問い合わせください 。
X:\ IS NOT ACCESSIBLE. THE DEVICE IS NOT READY (X:\ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません)	ドライブにディスクを入れて、もう一度試してみてください。

システムエラーメッセージ

表 3. システムエラーメッセージ

システムメッセージ	説明
Alert! Previous attempts at booting this system have failed at checkpoint [nnnn]. For help in resolving this problem, please note this checkpoint and contact Dell Technical Support (警告: このシステムの前回の起動時にチェックポイント [nnnn] で障害が発生しました。この問題を解決するには、このチェックポイントをメモしてデルテクニカルサポートにお問い合わせください)	同じエラーによって、コンピュータは 3 回連続して起動ルーチンを終了できませんでした。
CMOS checksum error (CMOS チェックサムエラー)	RTC がリセットされ、 BIOS セットアップ のデフォルトがロードされています。
CPU fan failure (CPU ファン障害)	CPU ファンに障害が発生しました。
System fan failure (システムファン障害)	システムファンに障害が発生しました。
Hard-disk drive failure (ハードディスクドライブ障害)	POST 中にハードディスクドライブに障害が発生した可能性があります。
Keyboard failure (キーボード障害)	キーボードに障害が発生したか、またはケーブルがしっかりと接続されていません。ケーブルをつなぎ直しても問題が解決しない場合はキーボードを交換してください。
No boot device available (起動デバイスがありません)	ハードディスクドライブ上に起動可能なパーティションが存在しないか、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていないか、または起動可能なデバイスが存在しません。 - ハードドライブが起動デバイスの場合、ケーブルが接続されていること、およびドライブが適切に取り付けられ、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。 - セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいことを確認します。

システムメッセージ	説明
No timer tick interrupt (タイマーティック割り込み信号がありません)	システム基板上のチップが誤動作しているか、またはマザーボードに障害が発生している可能性があります。
NOTICE - Hard Drive SELF MONITORING SYSTEM has reported that a parameter has exceeded its normal operating range. Dell recommends that you back up your data regularly. A parameter out of range may or may not indicate a potential hard drive problem (注意 - ハードドライブの自己監視システムに、パラメーターが通常の動作範囲を超えていることがレポートされています。デルではデータを定期的にバックアップすることをお勧めしています。パラメーターが範囲を超えていても、ハードドライブに潜在的な問題がある場合とそうでない場合があります。)	S.M.A.R.T エラー、ハードディスクドライブに障害の可能性あります。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでコンピュータのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。セットアップユーティリティで、以下の操作が可能です：

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。

Boot Sequence

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス（例：オプティカルドライブまたはハードドライブ）にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト(POST)中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です：

- <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです：

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - **メモ：** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
 - **メモ：** **Diagnostics（診断）** を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

ナビゲーションキー

以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。

- **メモ：** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 4. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
Tab	次のフォーカス対象領域に移動します。  メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。
F1	セットアップユーティリティ のヘルプファイルを表示します。

セットアップユーティリティの概要

セットアップユーティリティでは次のことができます。

- お使いのコンピュータのハードウェアを追加、変更、または取り外した後でシステムの構成情報を変更する。
- ユーザーパスワードなど、ユーザーが選択できるオプションを設定または変更する。
- 現在のメモリの容量を読み取る、または取り付けてあるハードドライブのタイプを設定する。

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティの画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。

 **注意:** コンピュータに詳しい方以外は、このプログラムの設定を変更しないでください。変更内容によっては、コンピュータが正しく動作しなくなることがあります。

セットアップユーティリティへのアクセス

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. 白い Dell のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

セットアップユーティリティページが表示されます。

 **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。次に、コンピュータをシャットダウンするか、または再起動してして、もう一度お試しください。

 **メモ:** Dell のロゴが表示されたら、<F12> キーを押して、**BIOS セットアップ**を選択することもできます。

セットアップユーティリティオプション

 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

表 5. 一般

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 - システム情報：BIOS バージョン、サービスタグ、アセットタグ、購入日、製造日、エクスプレスサービスコードを表示します。 - メモリ情報：搭載メモリ、使用可能メモリ、メモリ速度、メモリチャネルモード、メモリテクノロジー、DIMM 1 サイズ、DIMM 2 サイズ、DIMM 3 サイズ、および DIMM 4 サイズを表示します。 - PCI 情報：SLOT1、SLOT2、SLOT3、SLOT4、および SLOT5_M.2 を表示します。 - プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック スピード、最小クロック スピード、最大クロック スピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。 - デバイス 情報：SATA-0、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラ、オーディオコントローラ、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスを表示します。
Boot Sequence	このリスト内の指定されたデバイスからコンピュータが OS を探す順序です。 - Legacy (レガシー) - UEFI
Advanced Boot Options	UEFI 起動モードの時に、Enable Legacy Option ROMs (レガシーオプション ROM を有効にする) オプションを選択できます。このオプションはデフォルトで有効になっています。
Date/Time	日付と時間を設定することができます。システムの日時変更はすぐに反映されます。

表 6. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	オンボード LAN コントローラを制御できます。オプションは次の通りです。 - Disabled (無効) - Enabled (有効) (デフォルト) - Enabled w/PXE (PXE で有効) - Enabled w/Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効)  メモ: お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。
WIDI	WiFi でディスプレイに接続することができます。WIDI はディスプレイ (または WIDI 対応ディスプレイ) に Intel WiFi カード、Intel グラフィックス、WIDI レシーバーが必要です。WIDI アプリケーションをインストールするには、dell.com/support のサイトを参照して、WIDI アプリケーションをダウンロードしてください。  メモ: WIDI アプリケーションのインストール時に、ディスプレイを Intel オンボードグラフィック出力に接続します。
Serial Port	内蔵シリアルポートの動作方法を決定できます。オプションは、次のとおりです。 - Disabled (無効) - COM 1 - デフォルト設定

オプション	説明
	• COM 2 • COM 3 • COM 4
SATA Operation	統合ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。 • Disabled（無効） = SATA コントローラは非表示 • ATA = SATA は ATA モード用に構成済み • RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするよう構成済み
Drives	各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。 • SATA-0 • SATA-1 • SATA-2 • SATA-3
Smart Reporting	このフィールドは、システムの起動時に統合ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかをコントロールします。このオプションはデフォルトで無効です。
USB Configuration	以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。 • Enable Boot Support（起動サポートを有効にする） • Enable Front USB Ports（前面 USB ポートを有効にする） • Enable Rear USB Ports（背面 USB ポートを有効にする） すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Front USB Configuration	前面 USB ポートを有効または無効に設定できます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。
Back USB Configuration	背面 USB ポートを有効または無効に設定できます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。
USB PowerShare	このオプションで、携帯電話や、音楽プレーヤーなどの外部デバイスを充電することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Audio	内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。 • Enable Microphone（マイクを有効にする） • Enable Internal Speaker（内蔵スピーカーを有効にする） 両方のオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Miscellaneous Devices	各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。 • Enable PCI Slot（PCI スロットを有効にする） • Enable Media Card（メディアカードを有効にする）（デフォルトオプション） • Disable Media Card（メディアカードを無効にする） 。

表 7. ビデオ

オプション	説明
Primary Display	複数のコントローラがシステムで利用可能なときに、プライマリディスプレイを選択できます。 • Auto (自動) • Intel HD Graphics  メモ: Auto (自動) を選択しない場合は、オンボードグラフィックスデバイスが存在し、有効に設定されます。

表 8. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
System Password	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-0 Password	コンピュータの内蔵 HDD を設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-0 Password	コンピュータの内蔵 HDD を設定、変更、および削除することができます。
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。
Password Bypass	このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password (システム (起動) パスワード) と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。 • Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 • Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート)。  メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
TPM 1.2 Security	TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 • TPM On (デフォルト) • Clear (クリア) • 有効なコマンドの PPI をスキップ • 無効なコマンドの PPI をスキップ • Disabled (無効) • Enabled (有効) (デフォルト)

オプション	説明
Computrace	このフィールドでは、Absolute Software 社製 Computrace オプションサービスの BIOS モジュールインタフェースを Activate (アクティブ) または Disable (無効) にします。アセット管理用に作られた Computrace オプションサービスを有効、または無効にします。 • Deactivate (非アクティブ) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 • Disable (無効) • Activate (アクティブ)
Chassis Intrusion	シャーシイントルージョン機能をコントロールすることができます。以下のいずれかに設定できます。 • Enable (有効) • Disable (無効) • On-Silent (オンサイレント) - シャーシイントルージョンが検出されると、デフォルトで有効に設定されます。
CPU XD Support	プロセッサの Execute Disable モードを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
OROM Keyboard Access	このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。この設定により Intel RAID (CTRL+I) または Intel Management Engine BIOS Extension (CTRL+P/F12) へのアクセスを防ぐことができます。 • Enable (有効) - ユーザーはホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できます。 • One-Time Enable (1 回限り有効) - ユーザーは、次の起動時のみ、ホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できます。次の起動以降は、設定は無効に戻ります。 • Disable (無効) - ユーザーはホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できません。 このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Admin Setup Lockout	管理者パスワードを設定した場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。
HDD Protection Support	HDD 保護機能を有効または無効にできます。このオプションは、HDD データの安全性と不変性を維持することを目的とした高度な機能です。デフォルトではこのオプションは無効に設定されています。

表 9. Secure Boot (安全起動)

オプション	説明
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にできます。 • Disable (無効) • Enable (有効)
Expert key Management	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。 • PK

オプション	説明
	• KEK • db • dbx Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。 • Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 • Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 • Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 • Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 • Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 • Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。  メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

表 10. Intel Software Guard Extensions

オプション	説明
Intel SGX Enable	Intel Software Guard Extensions を有効または無効に設定して、メインオペレーティングシステムのコンテキストでコードを実行する / 機密情報を保存するための安全な環境を提供できます。 • Disabled (無効) (デフォルト) • Enabled (有効)
Enclave Memory Size	Intel SGX エンクレイブリザーブメモリサイズを設定できます。 • 32 MB • 64 MB • 128 MB

表 11. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	このフィールドは、プロセスが 1 つまたはすべてのコアを有効にするかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Intel SpeedStep	プロセッサの Intel SpeedStep モードは有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
C States Control	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Limited CPUID Value	プロセッサ標準 CPUID 機能の最大値を制限することができます。このオプションは、デフォルトで無効に設定されています。
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

オプション	説明
HyperThread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。

表 12. 電源管理

オプション	説明
AC Recovery	電力損失の後、AC 電源を回復した場合のシステムの対応を決定します。AC 回復を次のように設定できます。 - 電源オフ - 電源オン - Last Power State（直前の電源状態） このオプションはデフォルトで Power Off（電源オフ）に設定されています。
Auto On Time	自動的にコンピュータを立ち上げる時間を設定します。標準的な 12 時間形式（時間/分/秒）で時間を決定します。時間と AM/PM フィールドに数値を入力して、起動時間を変更します。  メモ: この機能は、電源タップのスイッチやサージプロテクタでコンピュータの電源をオフにした場合、または Auto Power（自動電源）が無効に設定されている 場合は動作しません。
Deep Sleep Control	ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。 - Disabled（無効） - Enabled in S5 only（S5 のみで有効） - Enabled in S4 and S5（S4 と S5 で有効） このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Fan Control Override	システムファンの速度を決定することができます。このオプションが有効の場合は、システムファンは最大速度で動作します。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
USB Wake Support	USB デバイスでコンピュータを待機状態からウェイクさせることができます。
Wake on LAN/WWAN	特殊な LAN 信号でトリガされた場合、オフ状態からコンピュータの電源をオンにすることができます。この機能は、コンピュータが AC 電源に接続されている場合のみ有効です。 Disabled（無効） - LAN またはワイヤレス LAN からウェークアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。 LAN or WLAN（LAN または WLAN） - 特殊な LAN 信号または無線 LAN 信号によりシステムの電源がオンになります。 LAN Only（LAN のみ） - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。 LAN with PXE Boot（PXE 起動を伴う LAN） - S4 または S5 状態のシステムに送られるウェークアップパケットは、システムが起動してすぐに PXE を起動するようになります。 WLAN Only（WLAN のみ） - 特殊な WLAN 信号によりシステムに電源を投入することができます。 このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Block Sleep	OS の環境でスリープ（S3 ステート）に入るのをブロックすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

オプション	説明
Intel Ready Mode	Intel 準備完了モードテクノロジーの機能を有効にするにすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 13. POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
Numlock LED	コンピュータの起動時、Numlock 機能を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
MEBx Hotkey	システムを起動する時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Keyboard Errors	コンピュータの起動時、キーボードエラーのレポートを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Fast Boot	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスをスピードアップするオプションです。 - Minimal (最小) — BIOS が更新されたり、メモリが変更されたり、または以前の POST が完了していない限り、システムは高速で起動します。 - Thorough (完全) — システムは、起動プロセスの手順をスキップしません。 - Auto (自動) — オペレーティングシステムでこの設定をコントロールできるようになります (オペレーティングシステムが Simple Boot Flag (シングル起動フラグ) をサポートしている場合のみ、有効です)。 このオプションは、デフォルトで Thorough (完全) に設定されています。

表 14. Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	このオプションは、Intel® Virtualization Technology が提供するハードウェア追加機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology (Intel Virtualization Technology を有効) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
VT for Direct I/O	Intel® Virtualization Technology がダイレクト I/O 用に提供するハードウェア追加機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology for Direct I/O (Intel Virtualization Technology for Direct I/O を有効) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Trusted Execution	このオプションは、Intel Trusted Execution Technology が提供するハードウェア追加機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 15. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。

オプション	説明
SERR Messages	SERR メッセージのメカニズムをコントロールします。このオプションはデフォルトで設定されていません。SERR メッセージのメカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。
Dell Development Configuration	特定の機能のオン / オフを切り替えて、BIOS を制御できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
BIOS Downgrade	前のバージョンへのシステムファームウェアのフラッシングを制御することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。  メモ: このオプションが選択されていない場合は、前のバージョンへのシステムファームウェアのフラッシングはブロックされます。
Data Wipe	HDD、SSD、mSATA、および eMMC などの使用可能なすべての内部ストレージからデータを安全に消去することができます。このオプションはデフォルトでは無効に設定されています。
BIOS recovery	プライマリハードドライブまたは外部 USB キーのリカバリファイルから、破損状態の BIOS をリカバリできます。

表 16. クラウドデスクトップ

オプション	説明
Server Lookup Method	クラウドデスクトップソフトウェアによるサーバーアドレスの検索方法を指定することができます。 • Static (静的) • DNS (デフォルト)
Server Name	サーバーの名前を指定することができます。
Server IP Address	クラウドデスクトップサーバーの主要な静的 IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Server port	クラウドデスクトップのプライマリポートを指定します。デフォルト設定は 06910 です。
Client Address Method	クライアントによる IP アドレスの入手方法を指定します。 • Static IP (静的 IP) • DHCP (デフォルト)
Client IP address	クライアントの静的 IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Client Subnet Mask	クライアントのサブネットマスクアドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Client Gateway	クライアントのゲートウェイアドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
DNS IP Address	クライアントの DNS IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Domain Name	クライアントのドメイン名を指定します。
Advanced	アドバンスドデバッグの冗長モードをオンにするにすることができます。このオプションはデフォルトでは無効に設定されています。

表 17. システムログ

オプション	説明
BIOS Events	システムイベントログが表示され、ユーザーは次の操作を選択できます。 - ログのクリア - Mark all Entries (すべてのエントリにマークを付ける)

表 18. 詳細設定

オプション	説明
ASPM	電源管理をアクティブにすることができます。 - Auto (自動) (デフォルト) - Disabled (無効) - L1 Only (L1 のみ)

セットアップユーティリティオプション

 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

表 19. 一般

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 - システム情報: BIOS バージョン、サービスタグ、アセットタグ、購入日、製造日、エクスプレスサービスコードを表示します。 - メモリ情報: 搭載メモリ、使用可能メモリ、メモリ速度、メモリチャネルモード、メモリテクノロジ、DIMM 1 サイズ、DIMM 2 サイズ、DIMM 3 サイズ、および DIMM 4 サイズを表示します。 - PCI 情報: SLOT1、SLOT2、SLOT3、SLOT4、および SLOT5_M.2 を表示します。 - プロセッサ情報: プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック速度、最小クロック速度、最大クロック速度、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジを表示します。 - デバイス 情報: SATA-0、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラ、オーディオコントローラ、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスを表示します。
Boot Sequence	このリスト内の指定されたデバイスからコンピュータが OS を探す順序です。 - Legacy (レガシー) - UEFI
Advanced Boot Options	UEFI 起動モードの時に、Enable Legacy Option ROMs (レガシーオプション ROM を有効にする) オプションを選択できます。このオプションはデフォルトで有効になっています。
Date/Time	日付と時間を設定することができます。システムの日時変更はすぐに反映されます。

表 20. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	オンボード LAN コントローラを制御できます。オプションは次の通りです。 • Disabled (無効) • Enabled (有効) (デフォルト) • Enabled w/PXE (PXE で有効) • Enabled w/Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効)  メモ: お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。
WIDI	WiFi でディスプレイに接続することができます。WIDI はディスプレイ (または WIDI 対応ディスプレイ) に Intel WiFi カード、Intel グラフィックス、WIDI レシーバーが必要です。WIDI アプリケーションをインストールするには、Dell.com/support のサイトを参照して、WIDI アプリケーションをダウンロードしてください。  メモ: WIDI アプリケーションのインストール時に、ディスプレイを Intel オンボードグラフィック出力に接続します。
Serial Port	内蔵シリアルポートの動作方法を決定できます。オプションは、次のとおりです。 • Disabled (無効) • COM 1 - デフォルト設定 • COM 2 • COM 3 • COM 4
SATA Operation	統合ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。 • Disabled (無効) = SATA コントローラは非表示 • ATA = SATA は ATA モード用に構成済み • RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするよう構成済み
Drives	各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。 • SATA-0 • SATA-1 • SATA-2
Smart Reporting	このフィールドは、システムの起動時に統合ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかをコントロールします。このオプションはデフォルトで無効です。
USB Configuration	以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。 • Enable Boot Support (起動サポートを有効にする) • Enable Front USB Ports (前面 USB ポートを有効にする) • Enable Rear USB Ports (背面 USB ポートを有効にする) すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

オプション	説明
Front USB Configuration	前面 USB ポートを有効または無効に設定できます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。
Back USB Configuration	背面 USB ポートを有効または無効に設定できます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。
USB PowerShare	このオプションで、携帯電話や、音楽プレーヤーなどの外部デバイスを充電することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Audio	内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。 • Enable Microphone (マイクを有効にする) • Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) 両方のオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Miscellaneous Devices	各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。 • Enable PCI Slot (PCI スロットを有効にする) • Enable Media Card (メディアカードを有効にする) (デフォルトオプション) • Disable Media Card (メディアカードを無効にする) 。

表 21. ビデオ

オプション	説明
Primary Display	複数のコントローラがシステムで利用可能なときに、プライマリディスプレイを選択できます。 • Auto (自動) • Intel HD Graphics  メモ: Auto (自動) を選択しない場合は、オンボードグラフィックスデバイスが存在し、有効に設定されます。

表 22. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
System Password	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-0 Password	コンピュータの内蔵 HDD を設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-0 Password	コンピュータの内蔵 HDD を設定、変更、および削除することができます。
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。
Password Bypass	このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password (システム (起動) パスワード) と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。 • Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

オプション	説明
	Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力ダイアログをスキップします (ウォームブート)。  メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
TPM 1.2 Security	TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 - TPM On (デフォルト) - Clear (クリア) - 有効なコマンドの PPI をスキップ - 無効なコマンドの PPI をスキップ - Disabled (無効) - Enabled (有効) (デフォルト)
Computrace	このフィールドでは、Absolute Software 社製 Computrace オプションサービスの BIOS モジュールインタフェースを Activate (アクティブ) または Disable (無効) にします。アセット管理用に作られた Computrace オプションサービスを有効、または無効にします。 Deactivate (非アクティブ) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 - Disable (無効) - Activate (アクティブ)
Chassis Intrusion	シャーシイントルージョン機能をコントロールすることができます。以下のいずれかに設定できます。 - Enable (有効) - Disable (無効) On-Silent (オンサイレント) — シャーシイントルージョンが検出されると、デフォルトで有効に設定されます。
CPU XD Support	プロセッサの Execute Disable モードを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
OROM Keyboard Access	このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。この設定により Intel RAID (CTRL+I) または Intel Management Engine BIOS Extension (CTRL+P/F12) へのアクセスを防ぐことができます。 Enable (有効) — ユーザーはホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できます。 One-Time Enable (1 回限り有効) — ユーザーは、次の起動時のみ、ホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できます。次の起動以降は、設定は無効に戻ります。

オプション	説明
	• Disable (無効) – ユーザーはホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できません。 このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Admin Setup Lockout	管理者パスワードを設定した場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。
HDD Protection Support	HDD 保護機能を有効または無効にできます。このオプションは、HDD データの安全性と不変性を維持することを目的とした高度な機能です。デフォルトではこのオプションは無効に設定されています。

表 23. Secure Boot (安全起動)

オプション	説明
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にできます。 • Disable (無効) • Enable (有効)
Expert key Management	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。 • PK • KEK • db • dbx Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。 • Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 • Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 • Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 • Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 • Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 • Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。  メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

表 24. Intel Software Guard Extensions

オプション	説明
Intel SGX Enable	Intel Software Guard Extensions を有効または無効に設定して、メインオペレーティングシステムのコンテキストでコードを実行する / 機密情報を保存するための安全な環境を提供できます。 • Disabled (無効) (デフォルト)

オプション	説明
	Enabled (有効)
Enclave Memory Size	Intel SGX エンクレイブリザーブメモリサイズを設定できます。 32 MB 64 MB 128 MB

表 25. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	このフィールドは、プロセスが 1 つまたはすべてのコアを有効にするかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Intel SpeedStep	プロセッサの Intel SpeedStep モードは有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
C States Control	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Limited CPUID Value	プロセッサ標準 CPUID 機能の最大値を制限することができます。このオプションは、デフォルトで無効に設定されています。
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
HyperThread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。

表 26. 電源管理

オプション	説明
AC Recovery	電力損失の後、AC 電源を回復した場合のシステムの対応を決定します。AC 回復を次のように設定できます。 - 電源オフ - 電源オン - Last Power State (直前の電源状態) このオプションはデフォルトで Power Off (電源オフ) に設定されています。
Auto On Time	自動的にコンピュータを立ち上げる時間を設定します。標準的な 12 時間形式 (時間/分/秒) で時間を決定します。時間と AM/PM フィールドに数値を入力して、起動時間を変更します。  メモ: この機能は、電源タップのスイッチやサージプロテクタでコンピュータの電源をオフにした場合、または Auto Power (自動電源) が無効に設定されている場合は動作しません。
Deep Sleep Control	ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。 - Disabled (無効) - Enabled in S5 only (S5 のみで有効) - Enabled in S4 and S5 (S4 と S5 で有効) このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

オプション	説明
Fan Control Override	システムファンの速度を決定することができます。このオプションが有効の場合は、システムファンは最大速度で動作します。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
USB Wake Support	USB デバイスでコンピュータを待機状態からウェイクさせることができます。
Wake on LAN/WWAN	特殊な LAN 信号でトリガされた場合、オフ状態からコンピュータの電源をオンにすることができます。この機能は、コンピュータが AC 電源に接続されている場合のみ有効です。 • Disabled (無効) - LAN またはワイヤレス LAN からウェークアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。 • LAN or WLAN (LAN または WLAN) - 特殊な LAN 信号または無線 LAN 信号によりシステムの電源がオンになります。 • LAN Only (LAN のみ) - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。 • LAN with PXE Boot (PXE 起動を伴う LAN) - S4 または S5 状態のシステムに送られるウェークアップパケットは、システムが起動してすぐに PXE を起動するようになります。 • WLAN Only (WLAN のみ) - 特殊な WLAN 信号によりシステムに電源を投入することができます。 このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Block Sleep	OS の環境でスリープ (S3 ステート) に入るのをブロックすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Intel Ready Mode	Intel 準備完了モードテクノロジーの機能を有効にするにすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 27. POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
Numlock LED	コンピュータの起動時、Numlock 機能を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
MEBx Hotkey	システムを起動する時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Keyboard Errors	コンピュータの起動時、キーボードエラーのレポートを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Fast Boot	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスをスピードアップするオプションです。 • Minimal (最小) - BIOS が更新されたり、メモリが変更されたり、または以前の POST が完了していない限り、システムは高速で起動します。 • Thorough (完全) - システムは、起動プロセスの手順をスキップしません。 • Auto (自動) - オペレーティングシステムでこの設定をコントロールできるようになります (オペレーティングシステムが Simple Boot Flag (シングル起動フラグ) をサポートしている場合のみ、有効です)。 このオプションは、デフォルトで Thorough (完全) に設定されています。

表 28. Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	このオプションは、Intel® Virtualization Technology が提供するハードウェア追加機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology (Intel Virtualization Technology を有効) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
VT for Direct I/O	Intel® Virtualization Technology がダイレクト I/O 用に提供するハードウェア追加機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology for Direct I/O (Intel Virtualization Technology for Direct I/O を有効) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Trusted Execution	このオプションは、Intel Trusted Execution Technology が提供するハードウェア追加機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 29. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。
SERR Messages	SERR メッセージのメカニズムをコントロールします。このオプションはデフォルトで設定されていません。SERR メッセージのメカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。
Dell Development Configuration	特定の機能のオン / オフを切り替えて、BIOS を制御できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
BIOS Downgrade	前のバージョンへのシステムファームウェアのフラッシングを制御することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。  メモ: このオプションが選択されていない場合は、前のバージョンへのシステムファームウェアのフラッシングはブロックされます。
Data Wipe	HDD、SSD、mSATA、および eMMC などの使用可能なすべての内部ストレージからデータを安全に消去することができます。このオプションはデフォルトでは無効に設定されています。
BIOS recovery	プライマリハードドライブまたは外部 USB キーのリカバリファイルから、破損状態の BIOS をリカバリできます。

表 30. クラウドデスクトップ

オプション	説明
Server Lookup Method	クラウドデスクトップソフトウェアによるサーバーアドレスの検索方法を指定することができます。 • Static (静的) • DNS (デフォルト)
Server Name	サーバーの名前を指定することができます。

オプション	説明
Server IP Address	クラウドデスクトップサーバーの主要な静的 IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Server port	クラウドデスクトップのプライマリポートを指定します。デフォルト設定は 06910 です。
Client Address Method	クライアントによる IP アドレスの入手方法を指定します。 - Static IP（静的 IP） - DHCP（デフォルト）
Client IP address	クライアントの静的 IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Client Subnet Mask	クライアントのサブネットマスクアドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Client Gateway	クライアントのゲートウェイアドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
DNS IP Address	クライアントの DNS IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Domain Name	クライアントのドメイン名を指定します。
Advanced	アドバンスドデバッグの冗長モードをオンにすることができます。このオプションはデフォルトでは無効に設定されています。

表 31. システムログ

オプション	説明
BIOS Events	システムイベントログが表示され、ユーザーは次の操作を選択できます。 - ログのクリア - Mark all Entries（すべてのエントリにマークを付ける）

表 32. 詳細設定

オプション	説明
ASPM	電源管理をアクティブにすることができます。 - Auto（自動）（デフォルト） - Disabled（無効） - L1 Only（L1 のみ）

BIOS のアップデート

システム基板の交換時、またはアップデートが可能な場合は、BIOS（セットアップユーティリティ）をアップデートされることをお勧めします。ラップトップの場合は、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていてコンセントに接続されていることを確認してください。

1. コンピュータを再起動します。
2. Dell.com/support にアクセスしてください。
3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit（送信）** をクリックします。

 **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag? (サービスタグの検索)** をクリックします。

 **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product (マイプロダクトの検出)** をクリックします。画面上の説明に進みます。

4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
5. リストから **Product Type (製品のタイプ)** を選択します。
6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポート**ページが表示されます。
7. **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**View All Drivers (すべてのドライバを表示)** をクリックします。
Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード) ページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム** ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates (アップデートが必要なシステムの分析)** をクリックし、画面の指示に従います。
10. **ダウンロード方法を以下から選択してください** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save (保存)** をクリックします。
12. **Run (実行)** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

 **メモ:** BIOS のバージョンを 3 つを超えるリビジョンにアップデートしないことをお勧めします。BIOS を 1.0 から 7.0 にアップデートする場合は、まずバージョン 4.0 をインストールしてからバージョン 7.0 をインストールします。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

パスワードの種類 説明

システムパスワード システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

セットアップパスワード お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

 **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

パスワードステータスが**ロック解除**の場合に限り、新しいシステムパスワードやセットアップパスワードの設定、または既存のシステムパスワードやセットアップパスワードの変更が可能です。パスワードステータスが**ロック**に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

 **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、コンピュータへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で **パスワードステータス**が **ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。

以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。

- パスワードの文字数は 32 文字までです。
- 0 から 9 までの数字を含めることができます。
- 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
- 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、()、(+)、(,)、(-)、(.)、(/)、(:)、(;)、(\)、(|)、(')。

プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。

4. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
5. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
6. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
7. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
8. <Y> を押して変更を保存します。
コンピュータが再起動します。

既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードを削除または変更する前に**パスワード状態**が**ロック解除**(システムセットアップで)になっていることを確認します。**パスワード状態**が**ロック**されている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で **パスワードステータス**が **ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。

4. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。



メモ: システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。

5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しセットアップユーティリティを終了します。
コンピュータが再起動します。

仕様

 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細は：

- Windows 10 の場合は、スタート  → 設定 → システム → バージョン情報 の順にクリックまたはタップします。
- Windows 8.1 および Windows 8 の場合は、スタート  → PC 設定 → PC とデバイス → PC 情報の順にクリックまたはタップします。
- Windows 7 の場合は、スタート  をクリックして **マイコンピュータ** を右クリックし、**プロパティ** を選択します。

表 33. プロセッサ

機能	仕様
プロセッサのタイプ	• Intel Core i3/i5/i7 シリーズ • Intel Dual Core シリーズ
キャッシュ合計	プロセッサのタイプに応じて最大 8 MB キャッシュ

表 34. メモリ

機能	仕様
タイプ	DDR3L
Speed (速度)	1,600 MHz
コネクタ	DIMM スロット (4)
容量	4 GB および 8 GB
最小メモリ	4 GB
最大メモリ	16 GB

表 35. ビデオ

機能	仕様
内蔵	内蔵 Intel HD グラフィックス 530/510
ディスプレイ	PCI Express x16 グラフィックスアダプタ

表 36. オーディオ

機能	仕様
内蔵	2 チャンネルハイデフィニッションオーディオ

表 37. ネットワーク

機能	仕様
内蔵	10/100/1000 Mb/s 通信に対応する内蔵 Intel I219-V Ethernet

表 38. システム情報

機能	仕様
システムチップセット	Intel Q 170 プラットフォーム コントローラハブ
割り込みレベル	24 割り込み対応内蔵 I/O APIC 機能
BIOS チップ (NVRAM)	16 MB

表 39. 拡張バス

機能	仕様
バスのタイプ	PCIe gen3、USB 2.0、USB 3.0
バス速度	PCI Express: • x4 スロット双方向速度 - 3.94 GB/ 秒 • x16 スロット双方向速度 - 16 GB/ 秒 SATA: 1.5 Gbps、3.0 Gbps、6 Gbps

表 40. カード

機能	仕様
PCI Express x4	ロープロファイルカード (1)
PCI Express x16	ロープロファイルカード (1)

表 41. ドライブ

機能	仕様
外部アクセス可能 (5.25 インチドライブベイ)	スリム光学ドライブベイ (1)
内部アクセス用	
3.5 インチ SATA ドライブベイ	1
2.5 インチ SATA ドライブベイ	2

表 42. 外部コネクタ

機能	仕様
オーディオ	
前面パネル	ユニバーサルオーディオヘッドセットコネクタ (1)
背面パネル	ライン出力コネクタ (1)
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ (1)
シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換 (1)
パラレル	25 ピン コネクタ (1) (ミニタワーおよびスモールフォームファクターのオプション)
PS/2	6 ピンキーボードコネクタ (1) 6 ピンマウスコネクタ (1)
USB 2.0	- 前面パネル : 2 - 背面パネル : 2
USB 3.0	- 前面パネル : 2 - 背面パネル : 4
ビデオ	15 ピン VGA コネクタ (オプション) 19 ピン HDMI コネクタ (1) 20 ピン DisplayPort コネクタ (2)
 メモ: 使用可能なビデオコネクタは選択したグラフィックスカードによって異なります。	

表 43. 内部コネクタ

機能	仕様
PCI Express x4	64 ピンコネクタ
PCI Express x16 データ幅 (最大) - 16 PCI Express レーン	164 ピンコネクタ
PCI Express M.2 22x80 ソケット 3 SSD	74 ピンコネクタ
シリアル ATA	7 ピンコネクタ (3)
メモリ	240 ピンコネクタ (4)
内蔵 USB	10 ピンコネクタ
システムファン	4 ピンコネクタ
前面パネルコントロール	5 ピンコネクタ
プロセッサ	1151 ピンコネクタ
プロセッサファン	4 ピンコネクタ
サービスモードジャンパ	2 ピンコネクタ

機能	仕様
パスワードクリアジャンパ	2 ピンコネクタ
内蔵スピーカー	4 ピンコネクタ
RTC リセットジャンパ	2 ピンコネクタ
イントルーダコネクタ	3 ピンコネクタ (1)
電源コネクタ	8 ピン PSU、4 ピン CPU、6 ピン、SATA コネクタ

表 44. コントロールとライト

機能	仕様
コンピュータの前面	
電源ボタンライト	白色のライト – 白色の点灯は、電源オンの状態を示します。白色の点滅は、コンピュータがスリープ状態であることを示します。
ドライブアクティビティライト	白色のライト – 白色の点滅は、コンピュータがハードドライブからデータを読み取っている、またはハードドライブにデータを書き込んでいることを示します。
コンピュータの背面：	
リンクインテグリティライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	緑色 – ネットワークとコンピュータとの間で 100 Mbps の接続が確立されていることを示します。 緑色 – ネットワークとコンピュータとの間で 100 Mbps の接続が確立されていることを示します。 橙色 – ネットワークとコンピュータの間に 1000 Mbps の接続が確立されていることを示します。 オフ (消灯) – コンピュータはネットワークに物理的に接続されていることを検出していません。
ネットワーク動作ライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	黄色のライト – 黄色の点滅は、ネットワークが動作していることを示します。
電源ユニット診断ライト	緑色のライト – 電源が入っており、機能していることを示します。電源ケーブルは電源コネクタ (コンピュータの背面) とコンセントに接続してください。

表 45. 電源



メモ: 熱放散は電源のワット数定格に基づいて算出されています。

ワット数	最大熱消費	電圧
SFF (スモールフォームファクター) 180 W	614.00 BTU/ 時	100 ~ 240 V AC、50 Hz ~ 60 Hz、3 A/ 1.5 A
コイン型電池	3 V CR2032 コイン型リチウム電池	

表 46. 物理的寸法

	高さ	幅	奥行き	重量
SFF (スモールフ ォームファクタ ー)	29.00 cm (11.42 イン チ)	9.30 cm (3.66 イン チ)	31.20 cm (12.28 インチ)	6.00 kg (13.22 ポン ド)

表 47. 環境

機能	仕様
温度範囲	
動作時	5 ～ 35°C (41 ～ 95°F)
保管時	-40 ～ 65 °C (-40 ～ 149 °F)
相対湿度 (最大)	
動作時	20 ～ 80 パーセント (結露しないこと)
保管時	5 ～ 95 パーセント (結露しないこと)
最大振動	
動作時	0.26 GRMS
保管時	2.20 GRMS
最大衝撃	
動作時	40 G
保管時	105 G
高度	
動作時	-15.2～3048 m (-50～10,000 フィート)
保管時	-15.20 ～ 10,668 m (-50 ～ 35,000 フィート)
空気中浮遊汚染物質レベル	G1、または ANSI/ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。